

**地震防災対策の現状調査に係る  
住民アンケート 結果  
(南海トラフ地震編)**

**令和 5 年 11 月**

<b>1.アンケート概要</b> .....	<b>3</b>
(1)調査目的 .....	3
(2)調査対象 .....	3
(3)実施期間 .....	3
(4)実施方法 .....	3
(5)調査内容 .....	3
(6)地域区分定義 .....	19
(7)回答状況 .....	19
<b>2.アンケート結果 クロス集計</b> .....	<b>20</b>
南海トラフ地震防災対策推進地域.....	20
Q1-1. 年齢（あてはまるものを1つ選んでください。） .....	20
Q1-2. 性別（あてはまるものを1つ選んでください。） .....	20
Q1-3. 職業（あてはまるものを1つ選んでください。） .....	20
Q1-4. どんな集合住宅または一軒家にお住まいですか。（あてはまるものを1つ選んでください。） .....	21
Q1-4-1. 何階にお住まいですか。（建物階数） .....	21
Q1-4-2. 何階にお住まいですか。（居住階数） .....	21
Q1-5 同居中の方（本人含む）に要配慮者（自ら避難することが困難な方で避難時に支援を要する方）がいますか。 .....	22
Q1-6. 津波、高潮、洪水で被災した経験はありますか（当てはまるものすべて） .....	22
Q1-7. ご自宅は、お住まいの市町村が公開している津波ハザードマップなどで津波による浸水が想定されていますか。（あてはまるものを1つ選んでください。） .....	22
Q2-1 在宅中、突然今までに経験のないような大きな揺れ（約3分間続き、その最中に大津波警報等が発表された（地震発生から約3分後））に襲われたときの行動（あてはまるものを1つ） .....	23
Q2-2. 自宅に津波が到達するのは、揺れ始めてから何分後だと思いますか.....	28
Q2-3-1. あなたは揺れがおさまってから、何分で避難（家を出る）しますか。.....	28
Q2-3-2. あなたは津波から避難するためにどこを目指しますか。（あてはまるものを1つ選んでください。） .....	28
Q2-3-3. 避難先は、行政に指定されている場所ですか。.....	29
Q2-3-4. 避難先は、津波による浸水が想定されている場所ですか。.....	30
Q2-4-1. 地震が発生してから、避難場所に向かう前に、あなたは何をしたいと思いますか。.....	31
Q2-4-2. 前問で回答した行動をすべて終えて、あなたは地震の揺れがおさまってから何分後に自宅を離れて避難場所に向かうことができますか。.....	33
「準備時間①」と「準備時間②」の差（「準備時間②」-「準備時間①」） .....	33
Q2-5-1. 避難場所までの移動手段を教えてください。（あてはまるものを1つ選んでください。） .....	34
Q2-5-2. 自宅を離れて避難場所へ向かい始めてから、避難場所へ到着するまでにかかる時間を教えてください。.....	34
準備時間①+移動時間（「Q2-3-1. あなたは揺れがおさまってから、何分で避難（家を出る）しますか。」と「Q2-5-2. 自宅を離れて避難場所へ向かい始めてから、避難場所へ到着するまでにかかる時間を教えてください。」の数値の合計） .....	36
準備時間②+移動時間（「Q2-4-2. 前問で回答した行動をすべて終えて、あなたは地震の揺れがおさまってから何分後	

に自宅を離れて避難場所に向かうことができますか。」と「Q2-5-2. 自宅を離れて避難場所へ向かい始めてから、避難場所へ到着するまでにかかる時間を教えてください。」の数値の合計) .....	37
Q2-6. 「避難できない」または「避難しない」主な理由は何ですか。(当てはまるものすべて) .....	38
Q3-1. 南海トラフ沿いの巨大地震の発生について、地震の発生が切迫していることを知っていましたか。(あてはまるものを1つ選んでください。) .....	39
Q3-2. 「南海トラフ地震臨時情報」には、「巨大地震警戒」と「巨大地震注意」の2つがあります。あなたはこの臨時情報のことを知っていますか。(あてはまるものを1つ選んでください。) .....	39
Q3-3. 南海トラフ地震臨時情報が発表された際に、後発地震に伴う津波に備えて、事前に1週間避難しなければならない地域があります。あなたの自宅はその地域に入っていますか。.....	40
Q3-4. 「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)」が発表されたとき、あなたはどのような行動を起こしますか。(当てはまるものすべて)とQ3-5. 「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)」が発表されたとき、あなたはどのような行動を起こしますか。(当てはまるものすべて) .....	41
Q5-1. 大地震に備えて取り組んでいる日常の防災対策について教えて下さい。.....	42
Q5-2. 近所の方々のうち、津波から避難する人はどの程度いると思いますか。(あてはまるものを1つ選んでください。) .....	43
Q5-3. ご自宅のあなたの身の回りの家具・家電製品(小さなものを除く。以下同様)などの固定状況について教えて下さい。(あてはまるものを1つ選んでください。) .....	43
Q5-4. 家具・家電などの固定ができていない理由は何ですか。(当てはまるものすべて) .....	44
Q6-1. 地震を感知すると自動的にブレーカーを落として電気を止める「感震ブレーカー」を知っていますか。(あてはまるものを1つ選んでください。) .....	45
Q6-2. あなたは、大地震に備えて、感震ブレーカー※を設置していますか。(あてはまるものを1つ選んでください。) ..	45
Q6-3. 感震ブレーカーの設置が出来ていない理由は何ですか。(当てはまるものすべて) .....	46
Q7-1-1. ご自宅付近で想定されている地震による最大震度はどれですか。(あてはまるものを1つ選んでください。) ※不明を母数から除く.....	46
Q7-1-2. ご自宅付近で想定されている津波による最大浸水深はどれくらいですか。(あてはまるものを1つ選んでください。) .....	48
Q7-2. あなたは本アンケートについて、どのような経由で知りましたか。(当てはまるものすべて) .....	51

# 1.アンケート概要

## (1)調査目的

大規模地震による被害は、主に津波・揺れ・火災に大別される。それらの被害に対して、避難施設の整備や建築物の耐震化等の対策が進められている。一方で、津波からいち早く避難する意識の徹底や、日頃からの備えの再確認をし、いざというときに迷わず行動できるようにしておくことも、被害の軽減につながる。今後の防災対策に活かすため、日頃の防災意識や対策等に関する調査を実施した。

## (2)調査対象

全国（WEB 回答）  
※住民が自発的に回答

## (3)実施期間

2023 年 7 月 1 日～10 月 31 日(終了)

## (4)実施方法

インターネット上に開設した調査サイト上での回答。

## (5)調査内容

次ページ以降に調査内容を示す。

## 1. 回答者の属性 【全国】

あなたについて教えてください。

○郵便番号（記述回答）

〒●●●●-●●●●

市町村（郵便番号より自動表示）

●●県●●市

⇒南海トラフ地震及び日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震に関する設問については、  
郵便番号より該当地域のみ表示

○年齢（あてはまるものを1つ選んでください。）

- 10代未満
- 10代
- 20代
- 30代
- 40代
- 50代
- 60代
- 70代以上

○性別（あてはまるものを1つ選んでください。）

- 男性
- 女性
- その他
- 答えたくない

○職業（あてはまるものを1つ選んでください。）

- 民間・団体勤務
- 自営業
- 公務員
- 主婦・主夫
- 学生・児童
- 無職
- その他

○どんな集合住宅または一軒家にお住まいですか（あてはまるものを1つ選んでください。）

- 木造の戸建て住宅
- 木造の集合住宅（マンション、アパート等）
- 鉄筋コンクリートの戸建て住宅
- 鉄筋コンクリートの集合住宅（マンション、アパート等）
- 木造及び鉄筋コンクリート以外の一戸建て →構造（自由記述）
- 木造及び鉄筋コンクリート以外の集合住宅（マンション、アパート等）  
→構造（自由記述）
- その他（自由記述）

○何階にお住まいですか ※集合住宅・一戸建てどちらも回答必須（あてはまるものを1つ選んでください。）※一戸建ての場合、主に居住している階をご記入ください。

△階建てのうち、○階に在住（記述）

○同居中の方（ご本人含む）に「避難行動要支援者（自ら避難することが困難な方で避難時に支援を要する方）」がいますか。

- いる（本人以外）
- いる（本人）
- いない
- 答えたくない

○津波、高潮、洪水で被災した経験はありますか（当てはまるものすべて）

- ある（津波）
- ある（高潮）
- ある（洪水）
- ない

○ご自宅は、お住まいの市町村が公開している津波ハザードマップなどで津波による浸水が想定されていますか。（あてはまるものを1つ選んでください。）

- 想定されていない
- 想定されている ⇒大問2「津波関係」
- わからない

「〇ご自宅は津波による浸水が想定されていますか。」について、「津波による浸水が想定されている」と回答した方

## 2. 津波からの避難への意識 【該当者のみ】

2-1 前問で「津波による浸水が想定されている」と回答した方に質問します。

ある日の昼間、あなたが自宅にいるとき、突然今まで経験したことがないような大きな揺れに襲われました。揺れは約3分間続き、その最中に大津波警報等が発表された（地震発生から約3分後）とします。このとき、あなた自身はどのような行動を取りますか。（あてはまるものを1つ選んでください。）

- 1.揺れが収まった直後にすぐに避難する
- 2.揺れが収まった後、すぐに避難せずなんらかの行動を終えてから、避難する
- 3.避難すべきと思うものの、避難できない
- 4.避難しない

2-2 自宅に津波が到達するのは、揺れ始めてから何分後だと思いますか。

- 0～5分
- 5～10分
- 10～15分
- 15～20分
- 20～30分
- 30～60分
- 60分以上
- わからない

2-3 問2-1で「避難する（回答「1.」「2.）」と回答した方

2-3-1 あなたは揺れがおさまってから、何分で避難（家を出る）をしますか。（自由記述、200分まで記述可能）

- ・〇分で避難を開始する（家を出る）

2-3-2 あなたは津波から避難するためにどこを目指しますか。（あてはまるものを1つ選んでください。）

- 屋外の高台や裏山
- その他の屋外
- 同じ建物の上層階
- 親戚・知人等の家
- 避難ビル・避難タワー
- 屋根の上または屋上
- その他の建物

避難先は、行政に指定されている場所ですか。

- はい
- いいえ
- わからない

避難先は、津波による浸水が想定されている場所ですか。

- はい
- いいえ
- わからない

## 2-4 問2-1で「2.」と回答した方

2-4-1 地震が発生してから、避難場所に向かう前に、あなたは何をしたいと思いますか。

分類1：〇〇を調べる		
避難する場所を調べる	する	しない ※普段から避難先を決めている
地震や津波の情報を調べる	する	しない
周辺住民の様子を確認する	する	しない
海や川の近くまで行き、海や川の様子を確認する	する	しない
分類2：〇〇を持っていく (画面切り替え)		
事前にまとめてあるグッズ(非常持ち出し袋など)を持っていく	する	しない
事前にまとめていないグッズ(衣類や薬、水、非常食など)を持っていく	する	しない ※普段から準備済み
貴重品や携帯電話・スマートフォンなどを持っていく	する	しない
分類3：他者と〇〇する、他者を〇〇する (画面切り替え)		
家族や友人などと連絡を取る(または取ろうとする)	する	しない
同居している要配慮者を連れていくための準備をする	する	しない
ペットを連れていくための準備をする	する	しない
別の場所に住んでいる家族や友人などを迎えに行く	する	しない
分類4：その他 (画面切り替え)		
火の始末をしたり、ブレーカーを落としたりする	する	しない
散らばった物の後片付けをする	する	しない
窓や勝手口などの戸締りを確認する	する	しない
その他	(自由記述)	

2-4-2 上記で回答した行動をすべて終えて、あなたは地震の揺れがおさまってから何分後に自宅を離れて避難所に向かうことができますか(200分まで記述可能)

〇分で避難場所へ向かい始める



2-5 問2-1で「避難する(回答「1.」「2.」)」と回答した方

2-5-1 避難場所までの移動手段を教えてください。(あてはまるものを1つ選んでください。)

- 徒歩
- 自転車
- バイク
- 車
- その他 (自由記述)

2-5-2 自宅を離れて避難場所へ向かい始めてから、避難場所へ到着するまでにかかる時間を教えてください。(200分まで記述可能)

- ・〇分で避難場所へ到着する

2-6 問2-1で「3.避難すべきと思うものの、避難できない」「4.避難しない」と回答した方

「避難できない」または「避難しない」主な理由は何ですか。(当てはまるものすべて)

- ご自身や家族の都合で避難ができないから
- 避難しなくても助かるから
- 避難場所で過ごしたくないから
- 避難が面倒だから
- 避難場所への移動中に津波に遭遇する可能性が高いから
- 自宅を留守にしたくないから
- 自宅にいて被害にあうならそれでも構わないから
- その他(自由記述)

2-7 問2-1で「3.避難すべきと思うものの、避難できない」と回答した方

避難できるようにするために、希望する支援があればご記入ください(自由記述)

### 3. 南海トラフ地震 【対象地域のみ】

3-1 南海トラフ沿いの巨大地震の発生について、今後30年以内にマグニチュード8～9クラスの巨大地震が発生する確率が70%から80%とされています。地震の発生が切迫していることを知っていましたか。(あてはまるものを1つ選んでください。)

- 知っている
- 聞いたことはあるものの、詳しく知らない
- 知らない

○南海トラフ沿いの地域

#### 南海トラフ地震防災対策における推進地域及び津波避難対策特別強化地域

##### 【南海トラフ地震防災対策推進地域(推進地域)】

1都2府26県707市町村

南海トラフ地震に係る地震防災対策を推進する必要がある地域

<指定基準の概要>

- 震度6弱以上の地域
- 津波高3m以上で海岸堤防が低い地域
- 防災体制の確保、過去の被災履歴への配慮

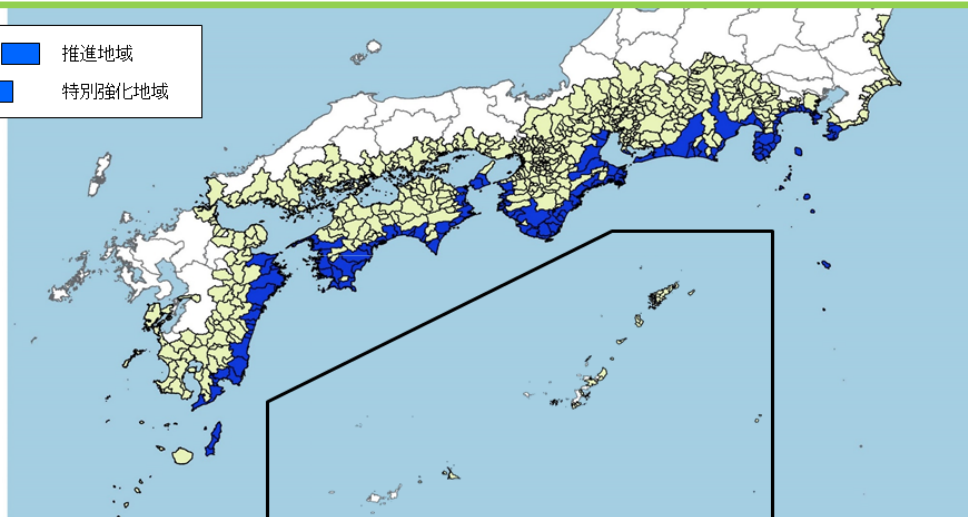
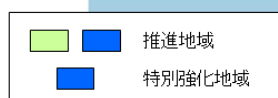
##### 【南海トラフ地震津波避難対策特別強化地域(特別強化地域)】

1都13県139市町村

推進地域のうち、南海トラフ地震に伴う津波に係る津波避難対策を特別に強化すべき地域

<指定基準の概要>

- 津波により30cm以上の浸水が地震発生から30分以内に生じる地域
  - 特別強化地域の候補市町村に扶まれた沿岸市町村
  - 同一府県内の津波避難対策の一体性の確保
- ※浸水深、浸水面積等の地域の実情を踏まえ、津波避難の困難性を考慮



3-2 南海トラフ沿いでマグニチュード(M)7以上の地震などを観測した場合、気象庁が「南海トラフ地震臨時情報」\*\*を公表することになっています。「南海トラフ地震臨時情報」には、「巨大地震警戒」と「巨大地震注意」の2つがあります。

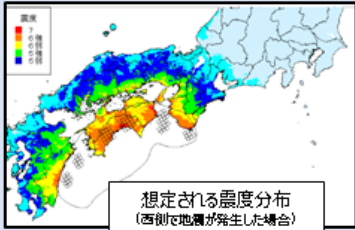
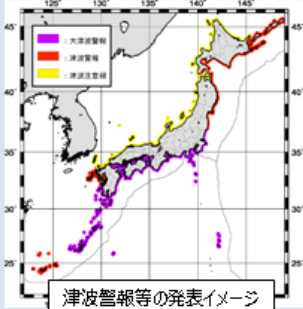

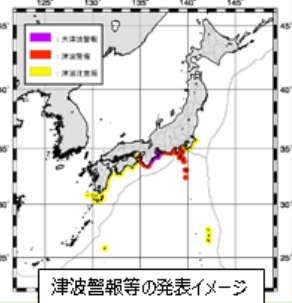
あなたはこの臨時情報のことを知っていますか。(あてはまるものを1つ選んでください。)

(\*\*次図に説明があります)

- 知っている
- 聞いたことはあるものの、詳しく知らない
- 知らない

## 南海トラフ地震臨時情報

南海トラフ沿いでマグニチュード(M) 7クラスの地震などを観測した場合、気象庁が南海トラフ地震臨時情報を発表。  
 国、地方公共団体、企業、住民等は、地震に備えた防災対応を実施。

	臨時情報が発表される基準 (震度と津波警報等のイメージ)
南海トラフ地震臨時情報 (巨大地震警戒)	<p><b>半割れケース</b></p> <p>南海トラフの想定震源域のプレート境界面でMw8以上の地震が発生</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>想定される震度分布 (西側で地震が発生した場合)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>津波警報等の発表イメージ</p> </div> </div>
南海トラフ地震臨時情報 (巨大地震注意)	<p><b>一部割れケース or ゆっくりすべりケース</b></p> <p>南海トラフの想定震源域またはその周辺でMw7以上の地震が発生あるいは想定震源域のプレート境界面でゆっくりすべりが発生</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>想定される震度分布 (2004年9月の三重県南東沖の地震(M7.1)の状況)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>津波警報等の発表イメージ</p> </div> </div>

※モーメントマグニチュード (Mw) :

断層のずれの規模(ずれ動いた部分の面積×ずれた量×岩石の硬さ)をもとにして計算したマグニチュード。気象庁が地震発生直後に発表する情報に用いるマグニチュード(気象庁マグニチュード)に比べて、巨大地震に対してもその規模を正しく表せる特徴を持つが、計算結果がでるまで若干時間を要する。

3-3 ご自宅は、南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)\*\*が発表された際に、後発地震(先に発生した地震に続いて発生する地震)に伴う津波に備えて、事前に1週間避難しなければならない地域(住民事前避難対象地域、または高齢者等事前避難対象地域)があります。あなたの自宅はその地域に入っていますか。 ※自治体によっては指定されていない場合があります。

(\*\*前図の上半分に説明があります)

- 住民事前避難対象地域に入っている
- 高齢者等事前避難対象地域に入っている
- いずれも入っていない
- わからない

3-4 「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）\*\*」が発表されたとき、あなたはどのような行動を起こしますか。（複数回答）

- 備蓄品が十分かどうか確認する
- 家具の固定について再確認する
- 最寄りの避難場所とそこまでの経路を確認する
- すぐに逃げられる格好で就寝する
- 備蓄品をすぐに取り出せる位置に置いておく
- 携帯電話やラジオ、テレビ等の情報チェックを欠かさない
- 地震発生時を想定して家族やご近所と相談しておく
- 続いて発生するかもしれない大きな地震・津波に備えて事前に避難する
- その他（記述）
- 特に何もしない

3-5 「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）\*\*」が発表されたとき、あなたはどのような行動を起こしますか。（当てはまるものすべて）

- 備蓄品が十分かどうか確認する
- 家具の固定について再確認する
- 最寄りの避難場所とそこまでの経路を確認する
- すぐに逃げられる格好で就寝する
- 備蓄品をすぐに取り出せる位置に置いておく
- 携帯電話やラジオ、テレビ等の情報チェックを欠かさない
- 地震発生時を想定して家族やご近所と相談しておく
- 続いて発生するかもしれない大きな地震・津波に備えて事前に避難する
- その他（記述）
- 特に何もしない

## 4. 日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震

【対象地域のみ】

4-1 日本海溝・千島海溝沿いでは、地震・津波の発生履歴より約3～4百年の間隔で最大規模の津波の発生が確認されております。17世紀の津波からの経過時間を考えると、マグニチュード8クラス以上の巨大地震の発生が切迫していることを知っていますか。(あてはまるものを1つ選んでください。)

- 知っている
- 聞いたことはあるものの、詳しく知らない
- 知らない

○日本海溝・千島海溝沿いの地域

### 日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震防災対策における推進地域及び特別強化地域

#### 【日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震防災対策推進地域(推進地域)】

##### 1道7県272市町村

日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に係る地震防災対策を推進する必要がある地域

##### <指定基準の概要>

- 震度6弱以上の地域
- 津波高3m以上で海岸堤防が低い地域
- 防災体制の確保、過去の被災履歴への配慮

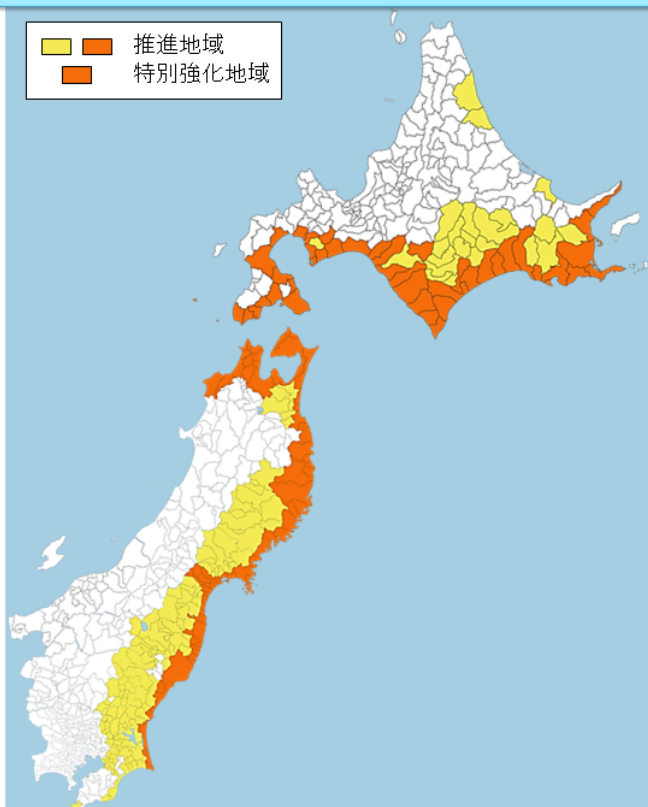
#### 【日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震津波避難対策特別強化地域(特別強化地域)】

##### 1道6県108市町村

推進地域のうち、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に伴う津波に係る津波避難対策を特別に強化すべき地域

##### <指定基準の概要>

- 津波により30cm以上の浸水が地震発生から40分以内に生じる地域
- 特別強化地域の候補市町村に挟まれた沿岸市町村
- 同一府県内の津波避難対策の一体性の確保
  - ※浸水深、浸水面積等の地域の実情を踏まえ、津波避難の困難性を考慮
  - ※積雪寒冷地以外の地域は30分以内(茨城県以南)



4-2 日本海溝・千島海溝沿いでマグニチュード(M)7以上の地震が発生し、さらに大きな地震の可能性が平時よりも相対的に高まったと評価された場合に気象庁が「北海道・三陸沖後発地震注意情報\*\*」を公表することになっています。

あなたはこの注意情報を知っていますか。(あてはまるものを1つ選んでください。)

(\*\*次図を参照)

- 知っている
- 聞いたことはあるものの、詳しく知らない
- 知らない

○日本海溝・千島海溝沿いの後発地震注意情報とは？

### 北海道・三陸沖後発地震注意情報

○ 日本海溝・千島海溝沿いでMw7以上の地震が発生し、さらに大きな地震の発生可能性が平時よりも相対的に高まったと評価された場合に気象庁が「北海道・三陸沖後発地震注意情報」を発表。  
○ 情報の発信に合わせ、政府や地方公共団体等から後発地震に備えた防災対応を呼びかけ。

想定震源域に影響を与えるエリア発生した地震の規模 (Mw) が大きいほど、エリアが拡大

【事例①】  
1963年 択捉南東沖地震  
M7.0 → M8.5  
約18時間後

【事例②】  
2011年 東北地方太平洋沖地震  
M7.3 → M9.0  
約2日後

想定震源域及びその周辺でM7.0以上の地震発生

精度の良いMが算出された時点で発表  
(地震発生から2時間程度)

**北海道・三陸沖後発地震注意情報**

続いて発生しうる巨大地震への注意のよびかけ  
日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震で、強い揺れや高い津波が想定される地域（北海道から千葉県）にお住まいの方は、必要な防災対応をとる  
※令和4年12月16日より運用開始

\* モーメントマグニチュード (Mw) :

断層のずれの規模（ずれ動いた部分の面積×ずれた量×岩石の硬さ）をもとにして計算したマグニチュード。気象庁が地震発生直後に発表する情報に用いるマグニチュード（気象庁マグニチュード）に比べて、巨大地震に対してもその規模を正しく表せる特徴を持つが、計算結果がでるまで若干時間を要する。

4-3 ご自身が住んでいる地域は「北海道・三陸沖後発地震注意情報\*\*」が発表された際に、後発地震に備えて、防災対応を取るべき対象地域ですか。（あてはまるものを1つ選んでください。）

(\*\*前図を参照)

- 対象地域である
- 対象地域ではない
- わからない

4-4 「北海道・三陸沖後発地震注意情報\*\*」が発表されたとき、あなたはどのような行動を起こしますか。(当てはまるものすべて)

(\*\*前図を参照)

- 備蓄品が十分かどうか確認する
- 家具の固定について再確認する
- 最寄りの避難場所とそこまでの経路を確認する
- すぐに逃げられる格好で就寝する
- 備蓄品をすぐに取り出せる位置に置いておく
- 携帯電話やラジオ、テレビ等の情報チェックを欠かさない
- 地震発生時を想定して家族やご近所と相談しておく
- 続いて発生するかもしれない大きな地震・津波に備えて事前に避難する
- その他(記述)
- 特に何もしない

## 5. 日常の防災対策 【全国】

5-1 大地震に備えて取り組んでいる日常の防災対策について教えてください。(当てはまるものすべて)

分類1：備え <span style="color: blue;">（画面切り替え）</span>		
停電時に作動する足元灯や懐中電灯などを準備している	はい	いいえ
食料・飲料水、日用品、医薬品などを準備している	はい	いいえ
貴重品をすぐに持ち出せるようにしている	はい	いいえ
非常持ち出し用の衣類や毛布等を準備している	はい	いいえ
防寒グッズ（カイロ、防寒着等）を準備している	はい	いいえ
分類2：自宅内の避難環境 <span style="color: blue;">（画面切り替え）</span>		
家具・家電などを固定し、転倒・落下・移動を防止している	はい	いいえ
家の避難通路を確保している	はい	いいえ
寝ている場所の付近にタンス等を設置していない	はい	いいえ
普段よく使用する部屋には転倒しうる家具は置かないようにしている	はい	いいえ
分類3：家族や近所の方との会話 <span style="color: blue;">（画面切り替え）</span>		
災害時の家族の安否確認方法を決めている	はい	いいえ
近所の知り合いと災害時の行動について話している	はい	いいえ
分類4：情報ツール <span style="color: blue;">（画面切り替え）</span>		
自治体等の災害情報メールやスマートフォンアプリ、SNS等に登録している	はい	いいえ
分類5：その他対策 <span style="color: blue;">（画面切り替え）</span>		
耐震性のある家に住んでいる	はい	いいえ
地震保険に加入している	はい	いいえ
防災訓練に積極的に参加している	はい	いいえ
その他	（自由記述）	

5-2 （津波による浸水が想定されていると回答した方）

近所の方々のうち、津波から避難する人はどの程度いると思いますか。(あてはまるものを1つ選んでください。)

- ほとんどの方が避難すると思う（90%以上）
- 多くの方が避難すると思う（70%程度）
- 半数の方が避難すると思う（50%）
- 一部の方が避難すると思う（30%程度）
- 避難する方は全くいないと思う（0%）
- わからない

5-3 ご自宅のあなたの身の回りの家具・家電製品（小さなものを除く。以下同様）などの固定状況について教えてください。(あてはまるものを1つ選んでください。)

1. 家にあるほぼ全ての家具・家電などを固定している
2. 重量または高さがあり、転倒・落下・移動すると危ない家具・家電に限ればほぼ全て固定できている
3. 重量または高さがあり、転倒・落下・移動すると危ない家具・家電の一部は固定しているが、ほぼ全てを固定している訳ではない



4. 重量または高さがあり転倒・落下・移動すると危ない家具・家電はあるが、固定はしていない
5. 家にある家具・家電などがほぼ全てに据え付けのものであり、家具・家電などの固定が不要
6. 家具が無いため、対策は不要

#### 5-4 問5-3で「3.」または「4.」と回答された方

家具・家電などの固定ができていない理由は何ですか。(当てはまるものすべて)

- 固定の方法がわからないから
- 固定の方法はわかっているが、自分ではその作業ができないと思うから
- 家具や壁などに傷をつけるから（賃貸住宅の原状回復義務への心配も含む。）
- 面倒だから
- 地震は発生しないと思っているから
- 地震が来たら仕方ないと思っているから
- お金がかかるから
- 地震が起きてもさほど危険ではないと思うから
- 固定しても効果がないと思うから
- その他 → (記述)
- 特にない

## 6. 地震後の火災対策 **【全国】**

6-1 地震を感知すると自動的にブレーカーを落として電気を止める「感震ブレーカー」を知っていますか。(あてはまるものを1つ選んでください。)

- 知っている
- 知らない

6-2 あなたは、大地震に備えて、感震ブレーカー※を設置していますか。(あてはまるものを1つ選んでください。)

※ ブレーカーのうち、電気に起因する出火を防止するため、設定値以上の揺れを検知したら通電を自動で停止するもの、あるいは既存のブレーカーにこの機能を後付けしたもの。

- 設置している (分電盤タイプ (内蔵型))
- 設置している (分電盤タイプ (後付型))
- 設置している (コンセントタイプ)
- 設置している (簡易タイプ)
- 設置していない
- わからない
- その他 → (記述)

分電盤タイプ (内蔵型)	分電盤タイプ (後付型)	コンセントタイプ	簡易タイプ
			
分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを落として電気を遮断。	分電盤に感震機能を外付けするタイプで、漏電ブレーカーが設置されている場合に設置可能。	コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断。	ばねの作動や重りの落下によりブレーカーを落として、電気を遮断。
約5~8万円 (標準的なもの)	約2万円	約5,000円~2万円	3,000円~4,000円程度
電気工事が必要	電気工事が必要	電気工事が必要なタイプと、コンセントに差し込むだけのタイプがある	電気工事が不要

6-3 問6-2で「設置していない」と回答された方。

感震ブレーカーの設置が出来ていない理由は何ですか。(当てはまるものすべて)

- お金がかかるから
- 工業者に発注することが面倒だから
- 感震ブレーカーがどんなものか知らなかったから
- 賃貸住宅に住んでおり、オーナーが設置するものと思っているから
- 設置の方法・段取りがわからないから
- 他の火災対策をしているから
- 感震ブレーカーは地震の後に地域が停電していなくても停電状態になり直後の対応や避難準備がしにくいから
- その他 → (記述)
- 特になし

7. その他 【全国】

○ご自宅付近で想定されている地震による最大震度はどれですか（あてはまるものを1つ選んでください。）

分からない場合は、下記 URL をご参照ください。（対象外の地域あり）

わがまちハザードマップ (gsi.go.jp)

- 震度 7
- 震度 6 強
- 震度 6 弱
- 震度 5 強
- 震度 5 弱
- 震度 4
- 震度 3 以下
- 不明

○ご自宅付近で想定されている津波による最大浸水深はどれくらいですか。（あてはまるものを1つ選んでください。）

分からない場合は、下記 URL をご参照ください。（対象外の地域あり）

わがまちハザードマップ (gsi.go.jp)

- 0m 以上～0.5m 未満（大人のひざまで浸かる程度）
- 0.5m 以上～3.0m 未満（1 階の天井まで浸かる程度）
- 3.0m 以上～5.0m 未満（2 階の軒下まで浸かる程度）
- 5.0m 以上～10.0m 未満（ビルの 3 階程度）
- 10.0m 以上～20.0m 未満
- 20.0m 以上
- 津波による浸水はしない
- 不明

7-1 あなたは本アンケートについて、どのような経由で知りましたか。

- 広報誌
- 自治体ホームページ
- SNS (Twitter、Instagram、Facebook 等)
- 自治体専用のスマホアプリ（●●市アプリ）
- 自治体専用でないアプリ（LINE 等）
- ご家族や友人等の知人から
- その他 → （記述）

7-2 大規模地震発生時の避難について、何か不安に思っていることはありますか。  
（自由記述）

## (6)地域区分定義

下記に地域区分定義（8区分）を示す。

都道府県	地方名	都道府県	地方名
北海道	北海道地方	三重県	近畿地方
青森県	東北地方	滋賀県	
岩手県		京都府	
宮城県		大阪府	
秋田県		兵庫県	
山形県		奈良県	
福島県		和歌山県	
茨城県		関東地方	鳥取県
栃木県	島根県		
群馬県	岡山県		
埼玉県	広島県		
千葉県	山口県		
東京都	徳島県		四国地方
神奈川県	香川県		
新潟県	中部地方	愛媛県	九州地方
富山県		高知県	
石川県		福岡県	
福井県		佐賀県	
山梨県		長崎県	
長野県		熊本県	
岐阜県		大分県	
静岡県		宮崎県	
愛知県		鹿児島県	
			沖縄県

## (7)回答状況

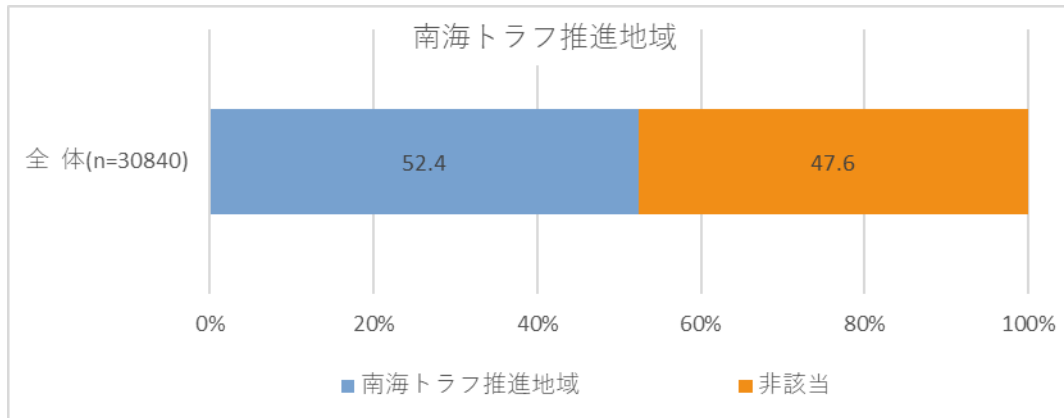
地方区分	回答件数
北海道	1057件
東北	2089件
関東	8742件
中部	6012件
近畿	6284件
中国	2189件
四国	1840件
九州・沖縄	2627件
<b>合計</b>	<b>30840件</b>

都道府県	回答件数	都道府県	回答件数
北海道	1057件	滋賀県	74件
青森県	284件	京都府	104件
岩手県	148件	大阪府	654件
宮城県	1214件	兵庫県	3007件
秋田県	58件	奈良県	341件
山形県	184件	和歌山県	760件
福島県	201件	鳥取県	43件
茨城県	1255件	島根県	58件
栃木県	177件	岡山県	1163件
群馬県	3692件	広島県	256件
埼玉県	937件	山口県	669件
千葉県	1153件	徳島県	303件
東京都	891件	香川県	850件
神奈川県	637件	愛媛県	273件
新潟県	369件	高知県	414件
富山県	357件	福岡県	530件
石川県	101件	佐賀県	94件
福井県	70件	長崎県	355件
山梨県	89件	熊本県	534件
長野県	882件	大分県	127件
岐阜県	780件	宮崎県	497件
静岡県	1432件	鹿児島県	284件
愛知県	1932件	沖縄県	206件
三重県	1344件	<b>合計</b>	<b>30840件</b>

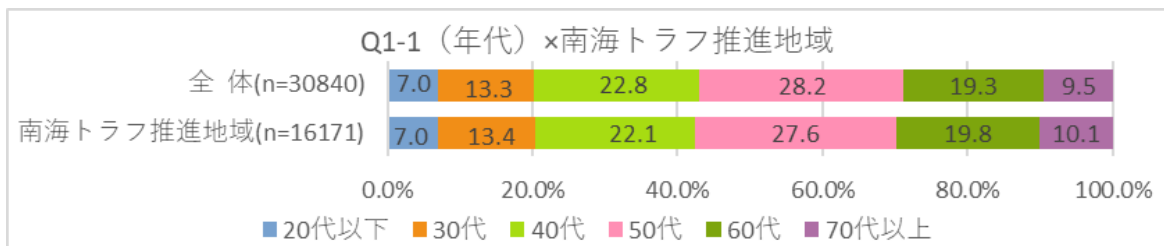
## 2. アンケート結果 クロス集計

### 南海トラフ地震防災対策推進地域

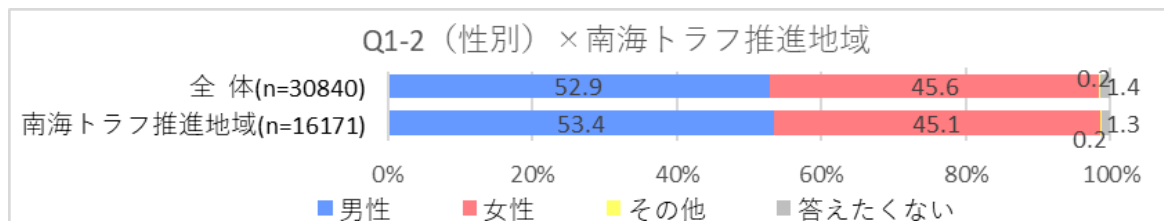
・52.4%が「南海トラフ地震防災対策推進地域（以降、「南海トラフ推進地域」とする。）」に該当している。



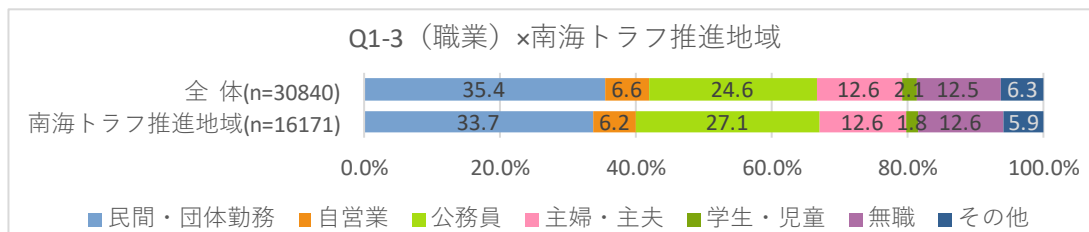
### Q1-1. 年代（あてはまるものを1つ選んでください。）



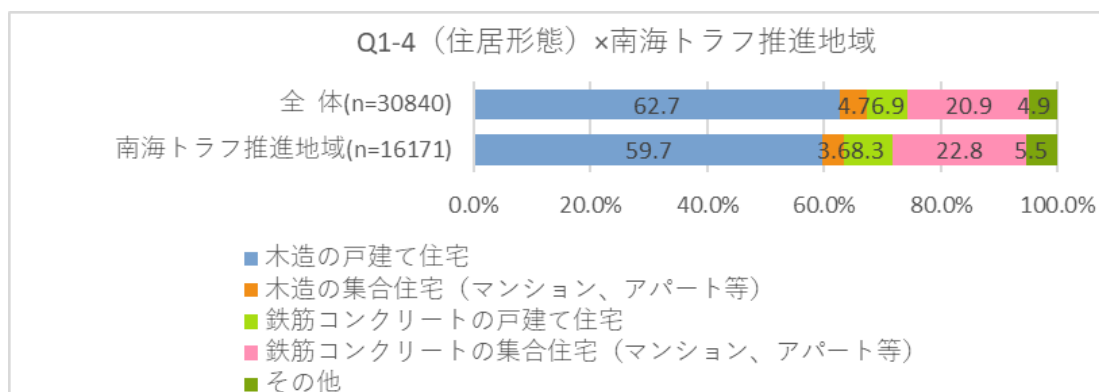
### Q1-2. 性別（あてはまるものを1つ選んでください。）



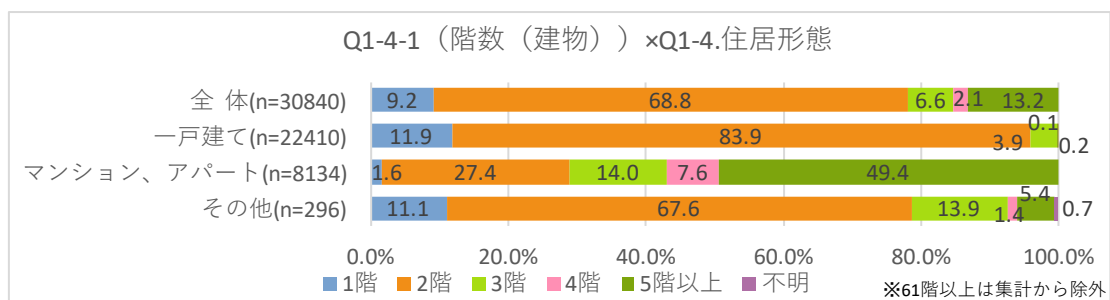
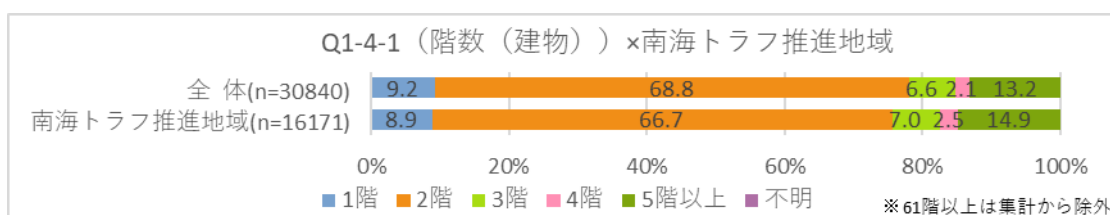
### Q1-3. 職業（あてはまるものを1つ選んでください。）



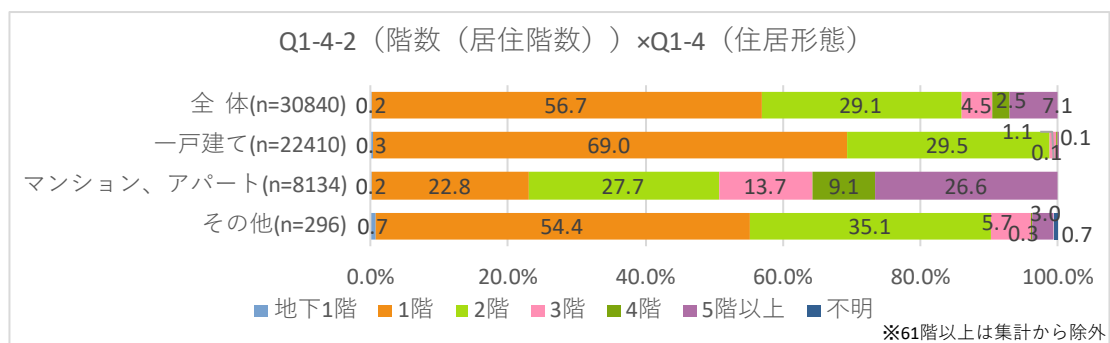
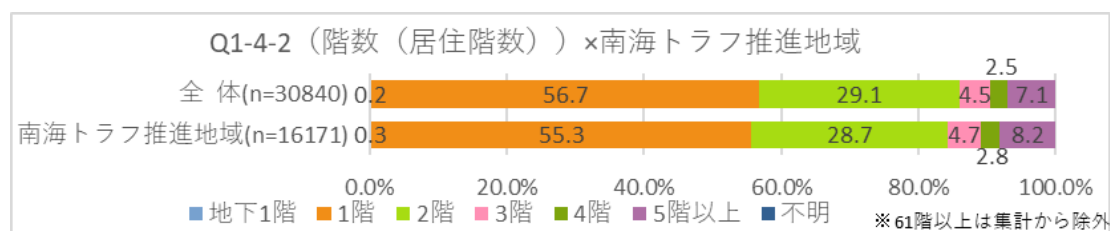
**Q1-4. どんな集合住宅または一軒家にお住まいですか。（あてはまるものを1つ選んでください。）**



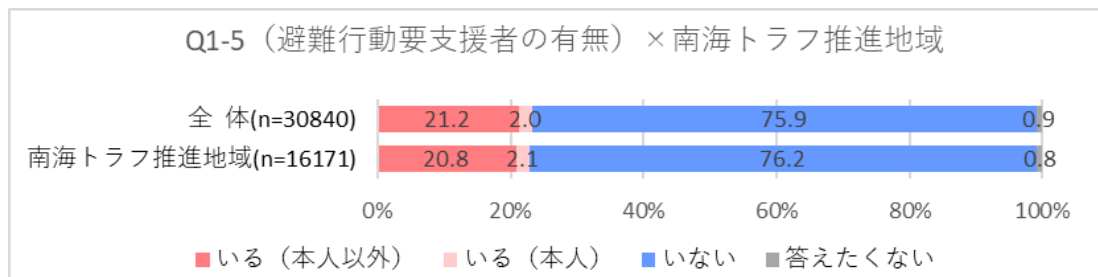
**Q1-4-1. 何階にお住まいですか。（建物階数）**



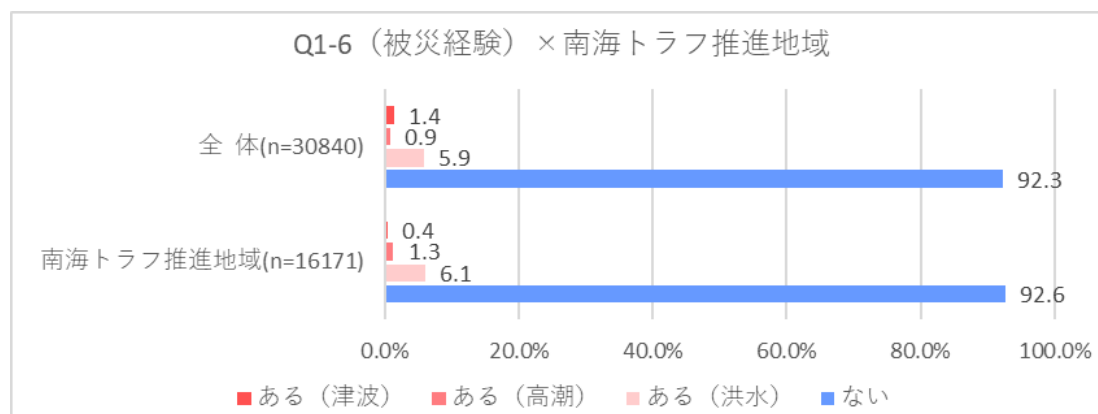
**Q1-4-2. 何階にお住まいですか。（居住階数）**



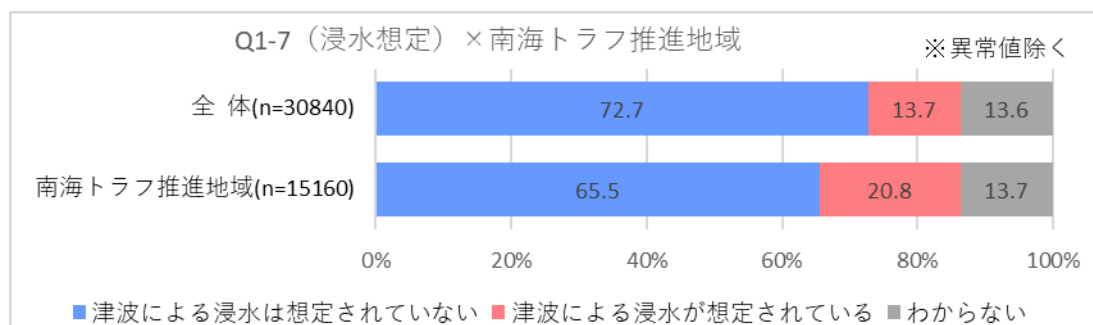
**Q1-5 同居中の方（本人含む）に要配慮者（自ら避難することが困難な方で避難時に支援を要する方）がいますか。**



**Q1-6. 津波、高潮、洪水で被災した経験はありますか（当てはまるものすべて）**

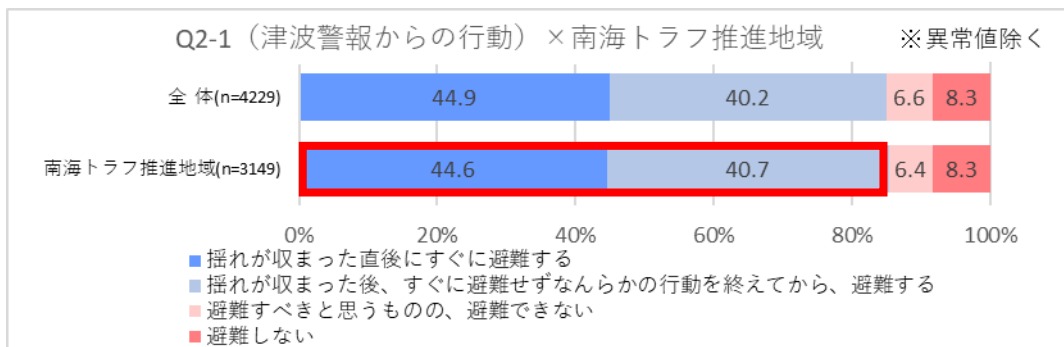


**Q1-7.ご自宅は、お住まいの市町村が公開している津波ハザードマップなどで津波による浸水が想定されていますか。（当てはまるものを1つ選んでください。）**

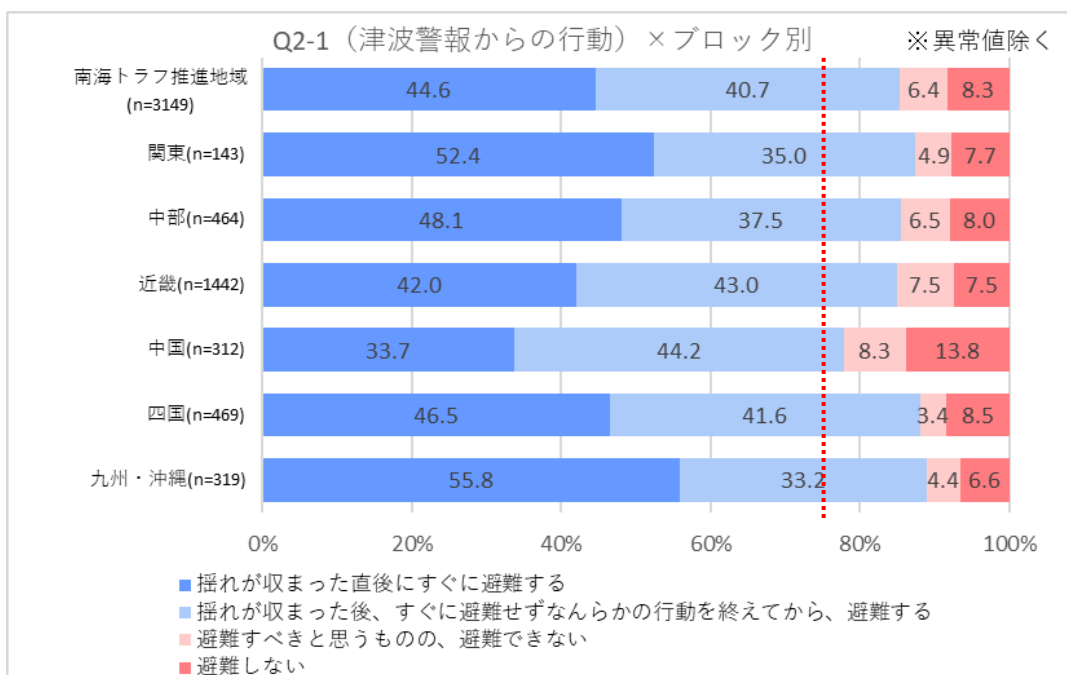


**Q2-1.在宅中、突然今までに経験のないような大きな揺れ（約3分間続き、その最中に津波警報等が発表された（地震発生から約3分後））に襲われたときの行動（あてはまるものを1つ）**

・避難する人（「揺れが収まった直後にすぐに避難する」または「揺れが収まった後、すぐに避難せずなんらかの行動を終えてから、避難する」と回答した人）の割合は約85%となり、南海トラフ推進地域においても同様の傾向となった。

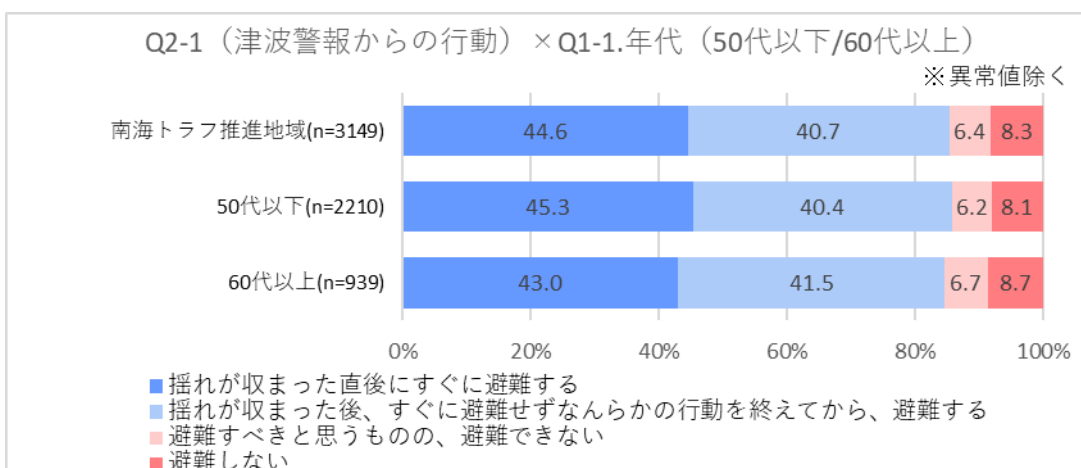
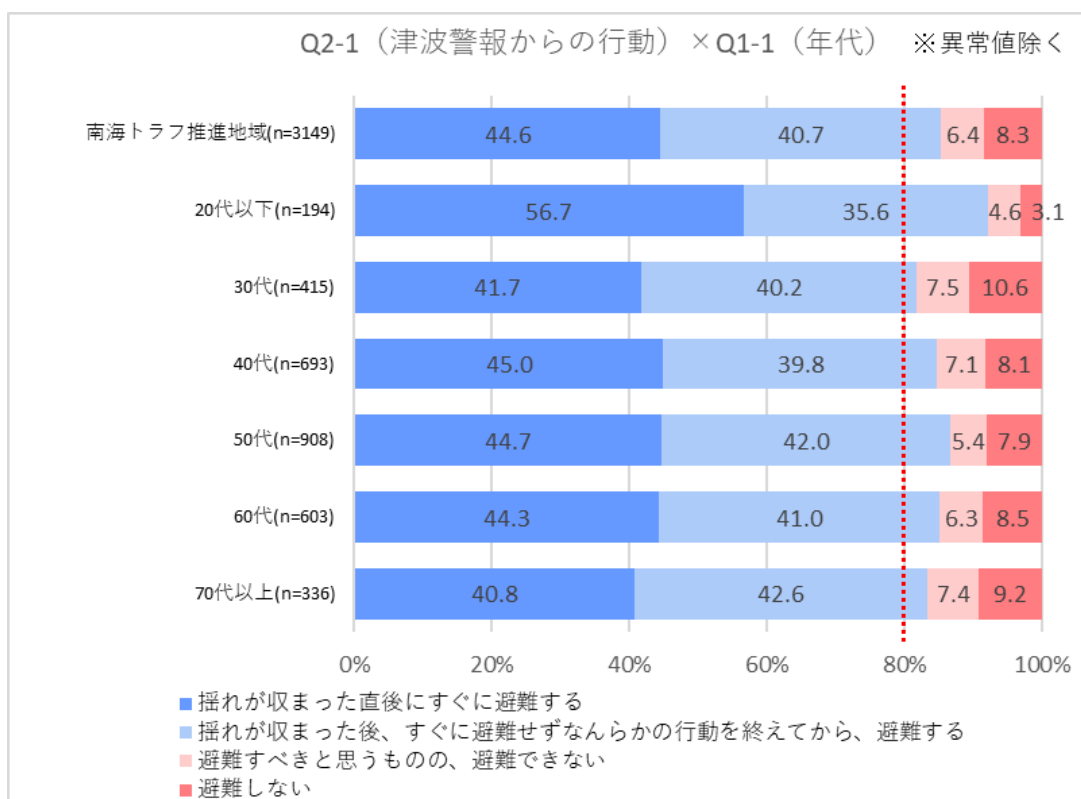


・全ての地域において、約75%以上（4人のうち3人）の人が「避難する」と回答（「揺れが収まった直後にすぐに避難する」または「揺れが収まった後、すぐに避難せずなんらかの行動を終えてから、避難する」と回答）している結果となった。

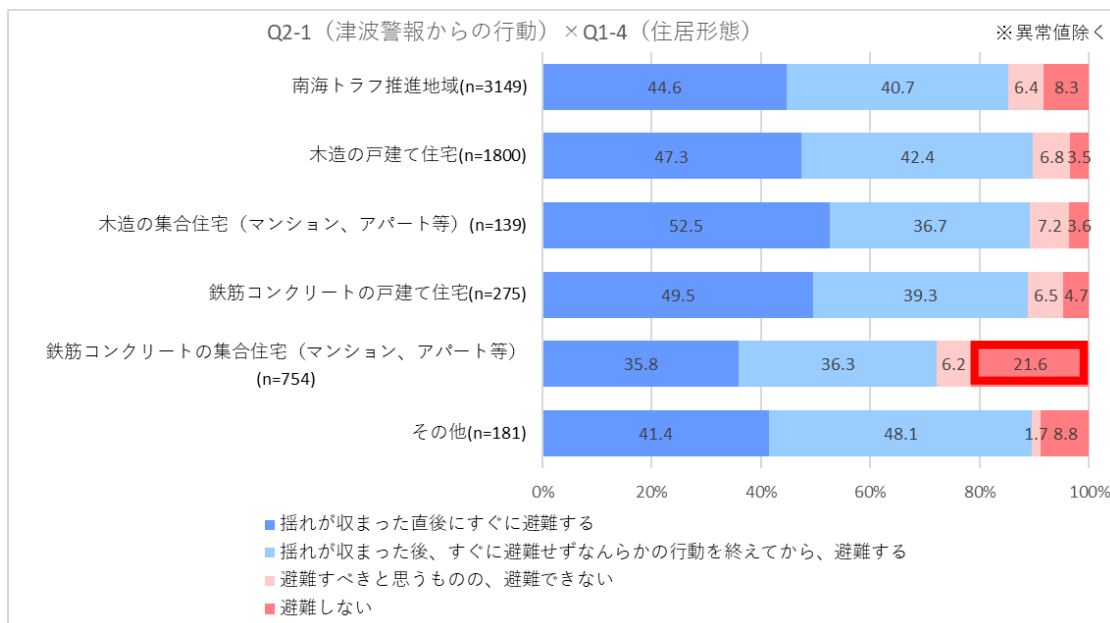




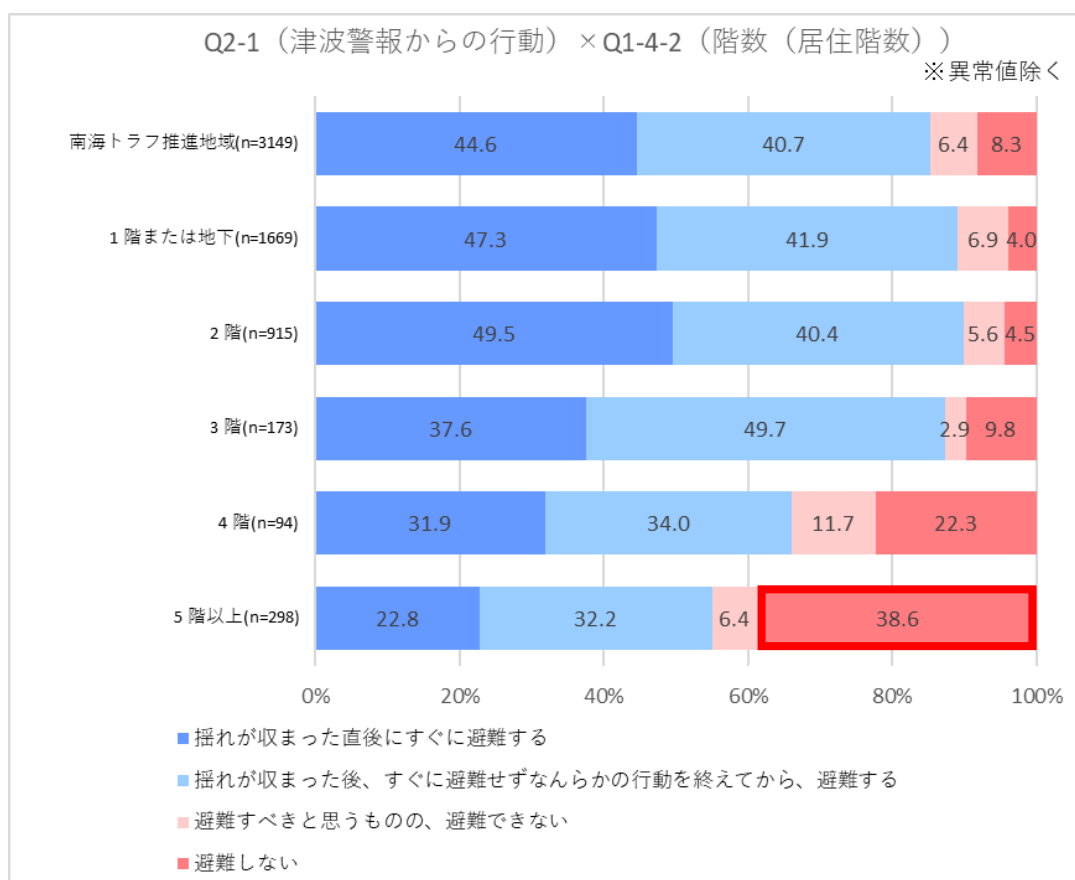
・年代別の避難行動について、すべての年代において、「避難する（「揺れが収まった直後にすぐに避難する」または「揺れが収まった後、すぐに避難せずなんらかの行動を終えてから、避難する）」と回答している人は80%以上であった。なお、「50代以下」「60代以上」については、避難行動に大きな違いはみられなかった。



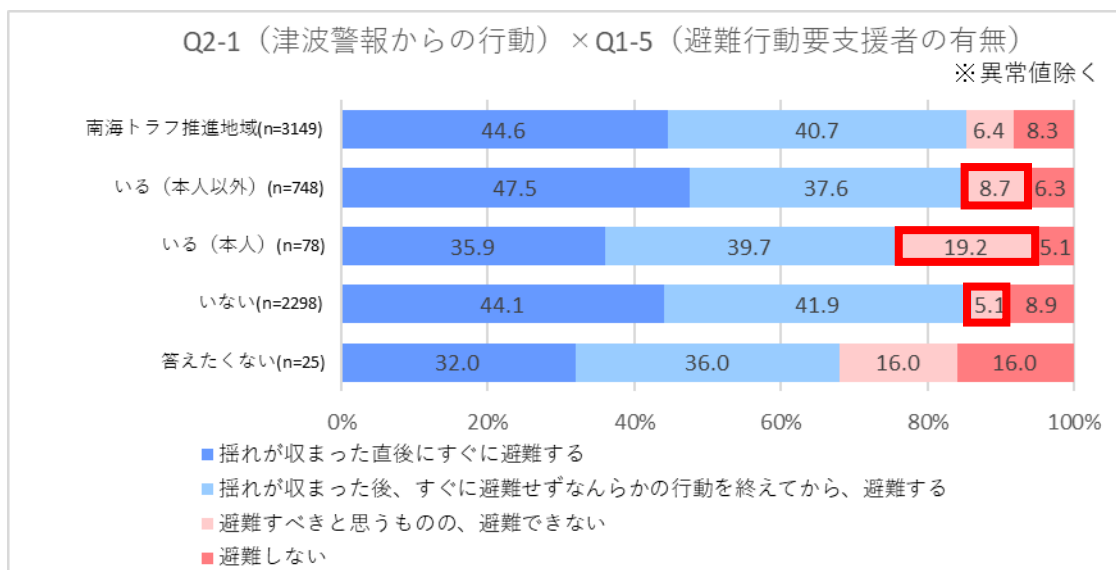
・住居形態別の避難行動について、「鉄筋コンクリートの集合住宅」では、「避難しない」と回答した人の割合が 21.6% となり、他の住居形態に比べて最も高い結果となった。



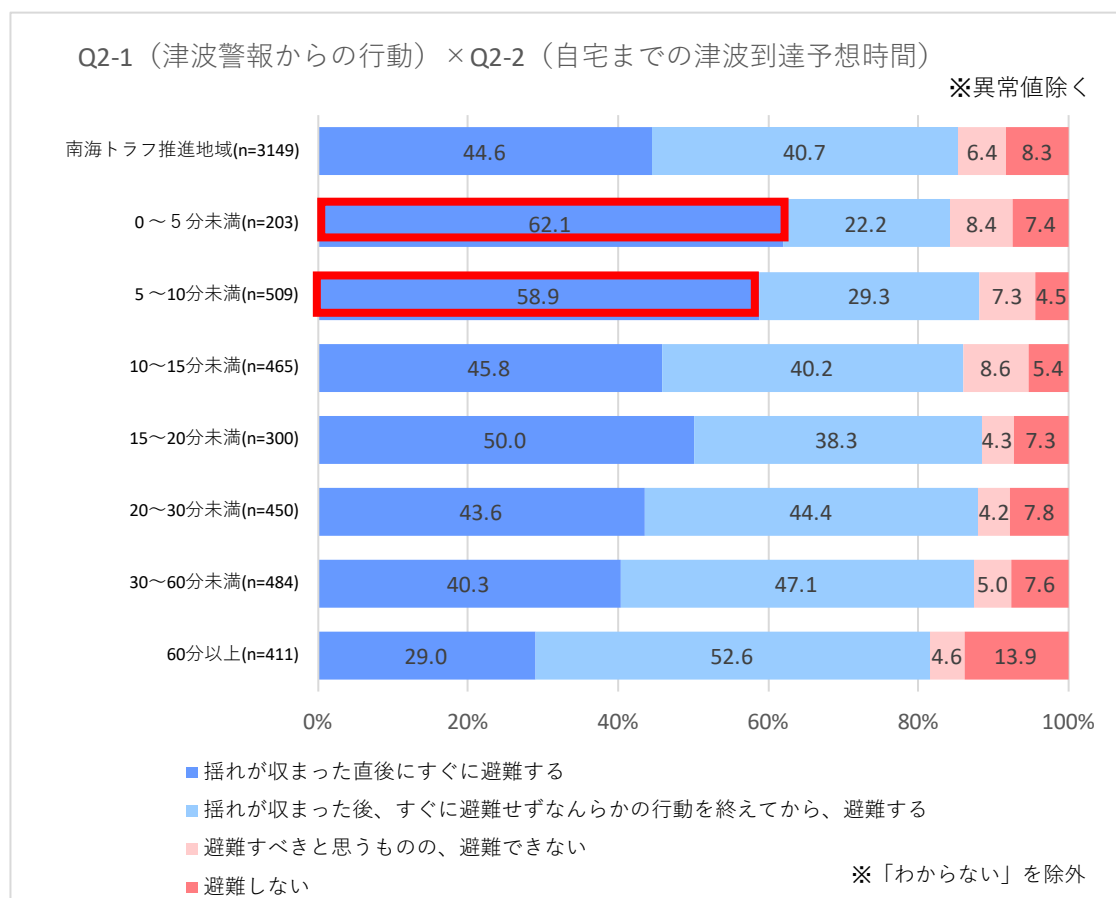
・居住階数別の避難行動について、階数が増えるにつれて、「避難しない」割合が多くなり、「5階以上」では「避難しない」が 38.6%と最も高い結果となった。



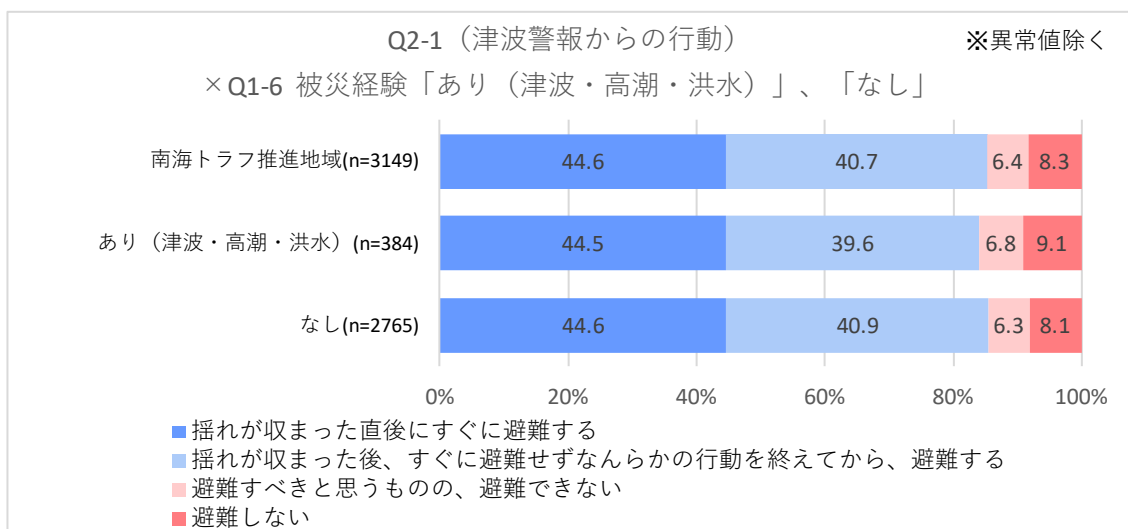
・要支援者との同居有無について、「いる（本人または本人以外）」と回答した人は、「いない」と回答した人に比べて、「避難すべきと思うものの、避難できない」と回答した人の割合が高かった。



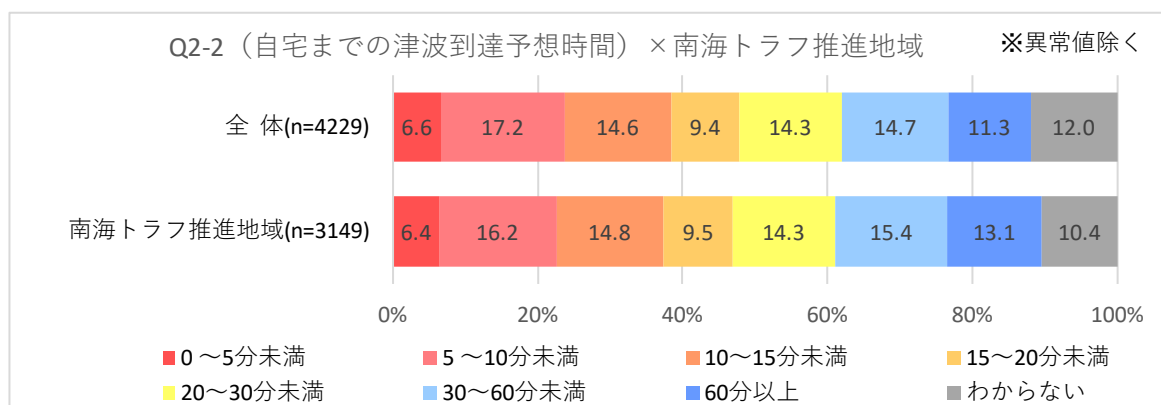
・自宅までの津波到達予想時間別の避難行動について、「揺れが収まった直後にすぐに避難する」と回答した人の割合は、「0～5分未満」では62.1%、「5～10分未満」では58.9%となり、10分未満に津波が自宅に到達すると予想している層では、すぐに避難行動をとる人の割合が高い結果となった。



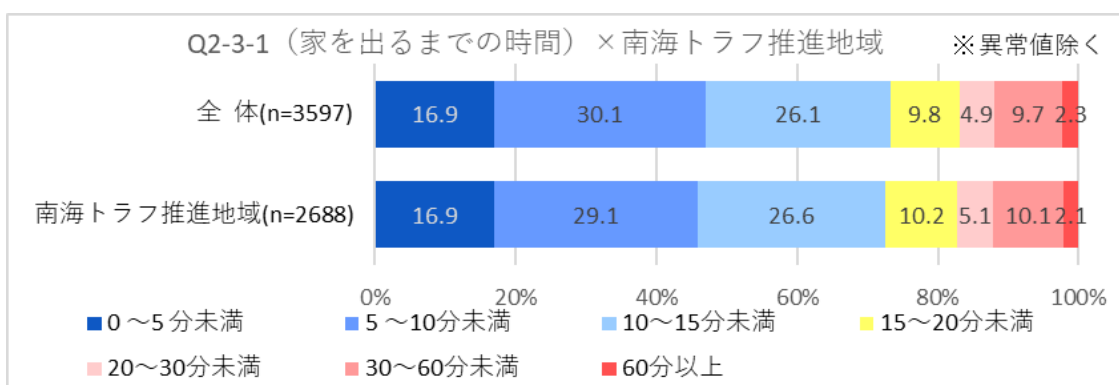
・過去の被災経験別と避難行動について、「あり（津波・高潮・洪水）」「なし」ともに、「揺れが収まった直後にすぐに避難する」と回答した人の割合は約 45%であり、被災経験有無による大きな差はみられなかった。



## Q2-2. 自宅に津波が到達するのは、揺れ始めてから何分後だと思いますか

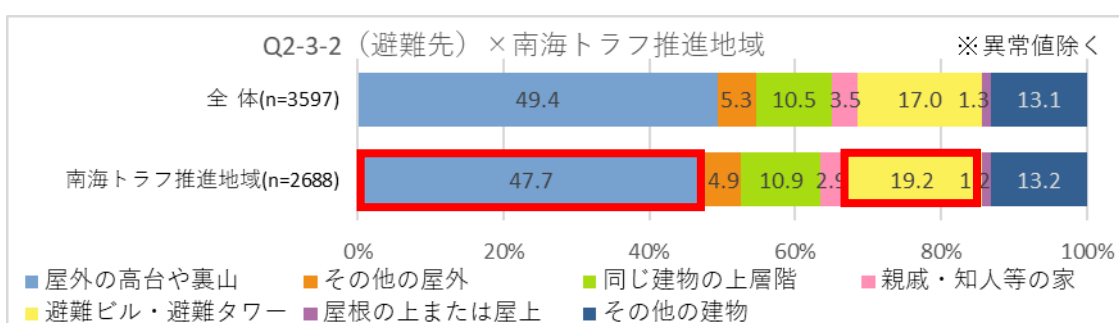


## Q2-3-1. あなたは揺れがおさまってから、何分で避難（家を出る）をしますか。【準備時間①】

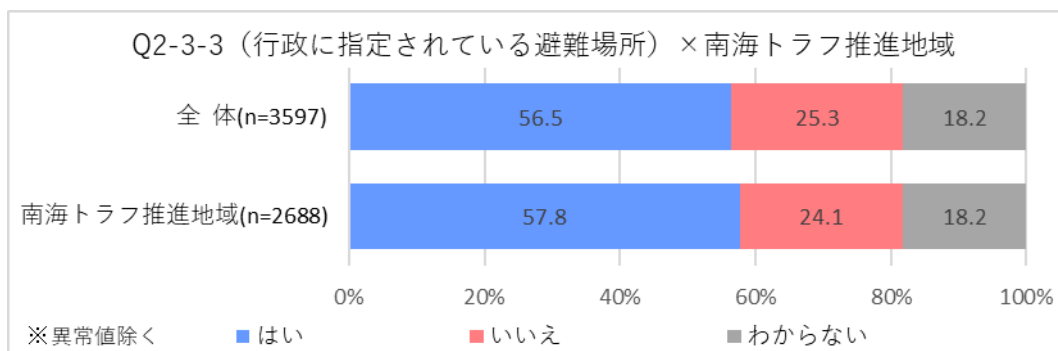


## Q2-3-2. あなたは津波から避難するためにどこを目指しますか。(あてはまるものを1つ選んでください。)

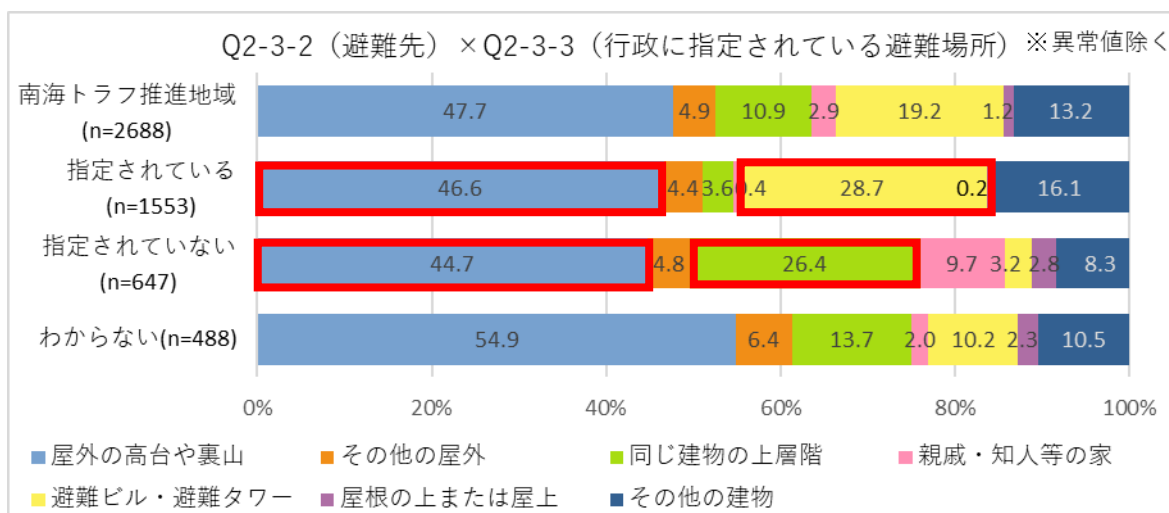
・「屋外の高台や裏山」と回答した人の割合が約半数と最も高く、次いで「避難ビル・避難タワー」と回答した人の割合が高い結果となった。



### Q2-3-3. 避難先は、行政に指定されている場所ですか。

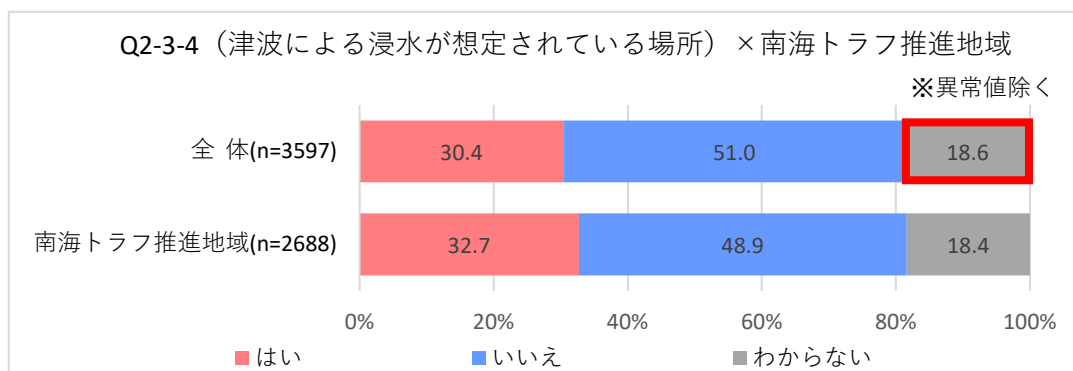


・避難先の行政指定の有無によらず、避難先として「野外の高台や裏山」と回答している人の割合が最も高い。次に多い避難先について、「行政による指定がされている」と回答した人は、「避難ビル・避難タワー」を想定しており、一方で「行政による指定がされていない」と回答した人は、「同じ建物の上層階」と想定しており、避難先の傾向が異なる。

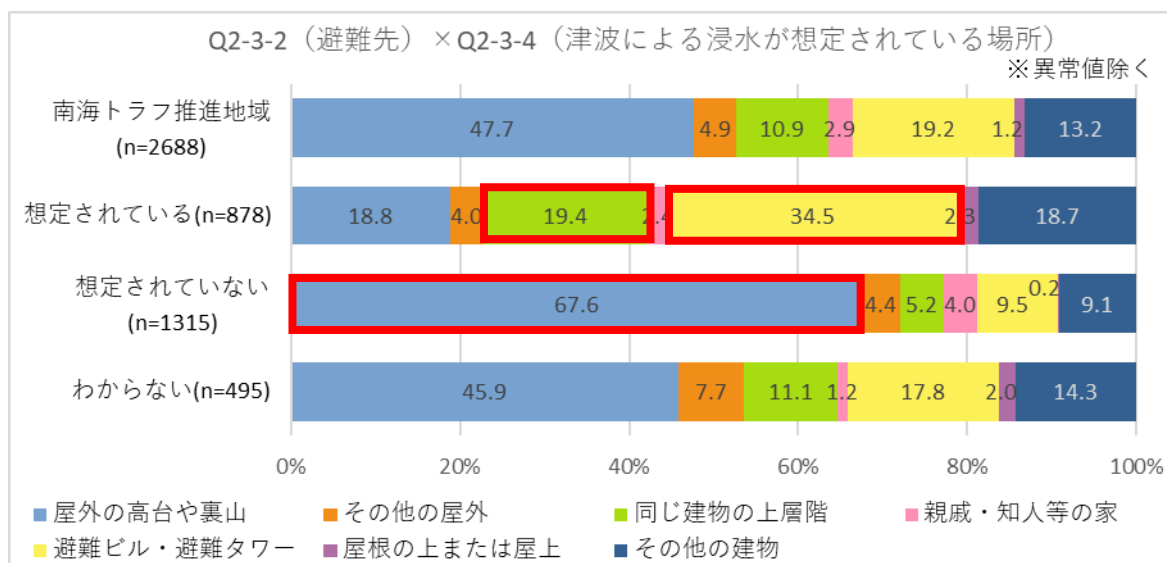


### Q2-3-4. 避難先は、津波による浸水が想定されている場所ですか。

・避難先について、津波による浸水が想定されているか認知している人は80%以上いるものの、「わからない」と回答した人は約19%であり、南海トラフ推進地域においても同様の傾向となった。

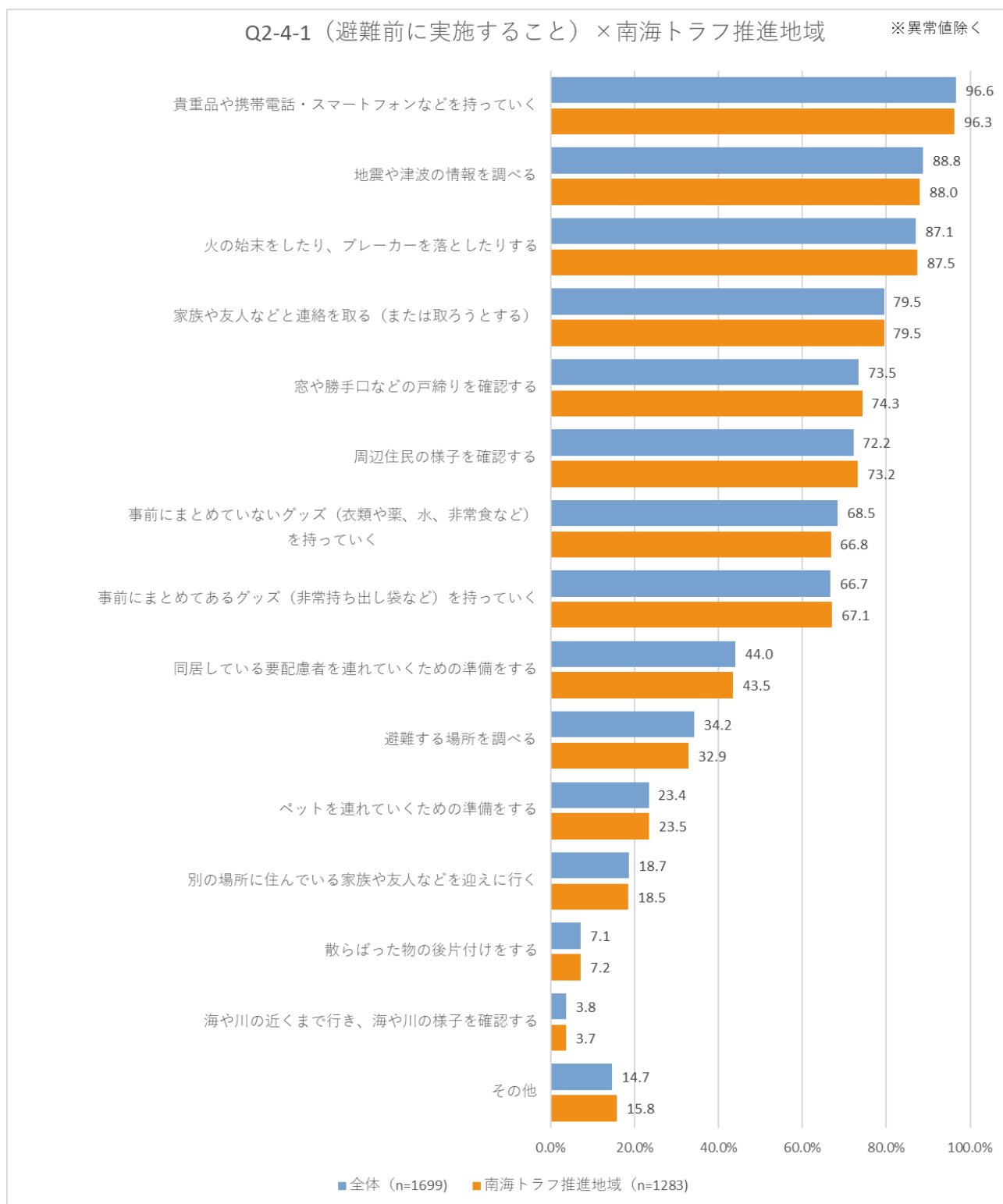


・避難先について、津波による浸水が想定されていない場所では「屋外の高台や裏山」に避難する傾向にあるが、浸水が想定されている場所では、「屋外の高台や裏山」の割合は減り、「避難ビル・避難タワー」や「同じ建物の上層階」と回答している人の割合が増える。



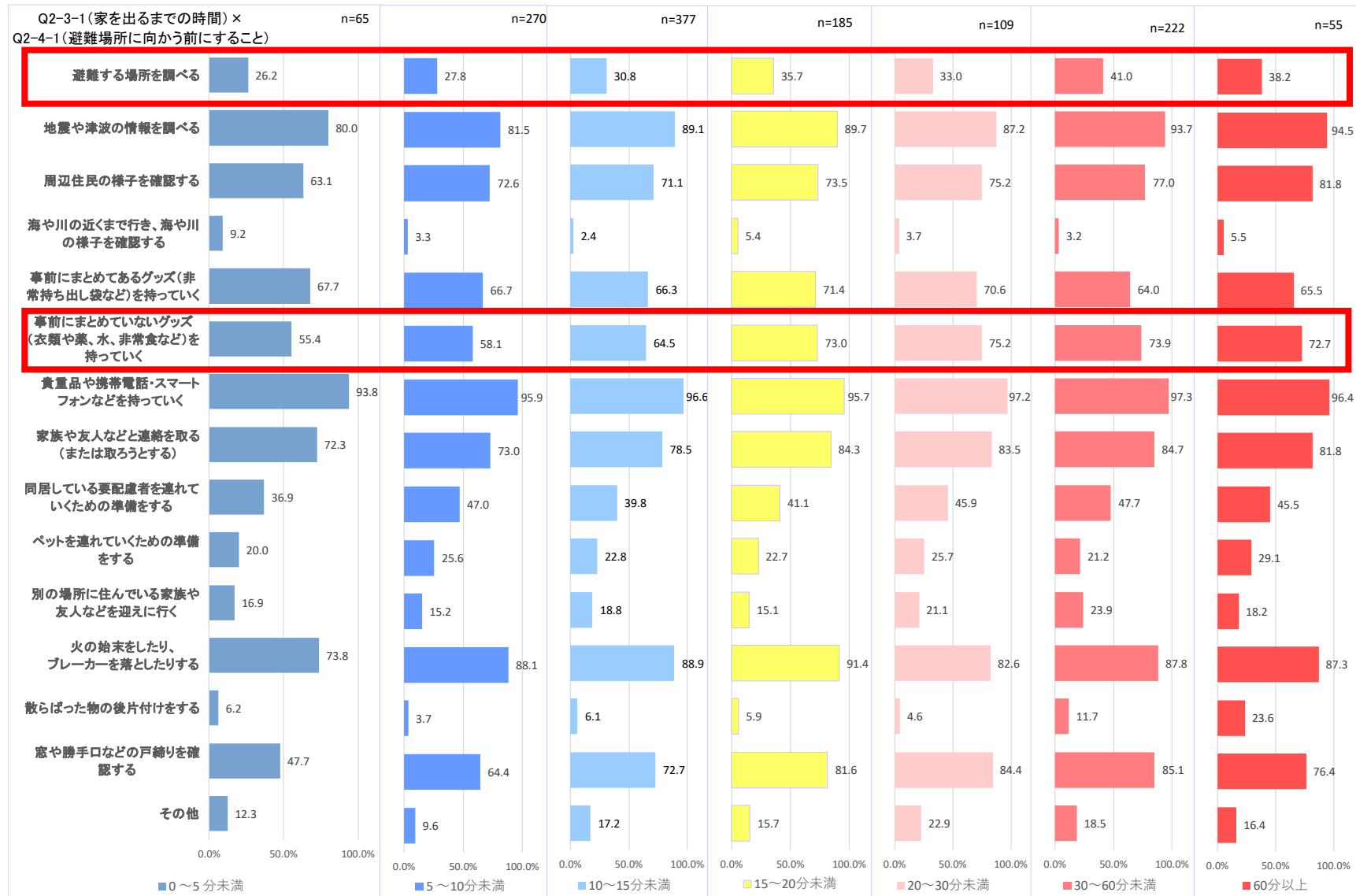
### Q2-4-1. 地震が発生してから、避難場所に向かう前に、あなたは何をしたいと思いますか。

・全体では、「貴重品や携帯電話・スマートフォンなどを持っていく」が 96.6%と最も多く、次いで「地震や津波の情報を調べる」が 88.8%となり、「南海トラフ推進地域」においても、全体と同傾向となった。



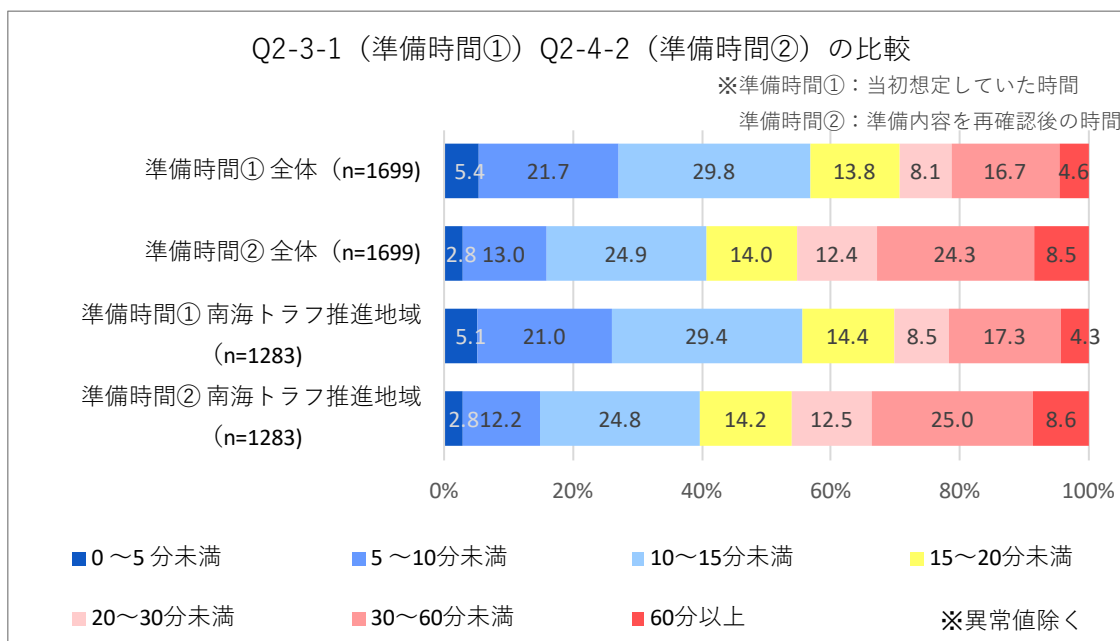


・「揺れが収まった後に、すぐに避難せずなんらかの行動を終えてから、避難する」と回答した人のうち、「避難場所を調べる」や「事前にまとめていないグッズを持っていく」などの日頃からの備えが可能な行動を回答した割合は、避難準備時間が長くなる（60分以上に近づく）につれて、増加傾向になることがわかった。

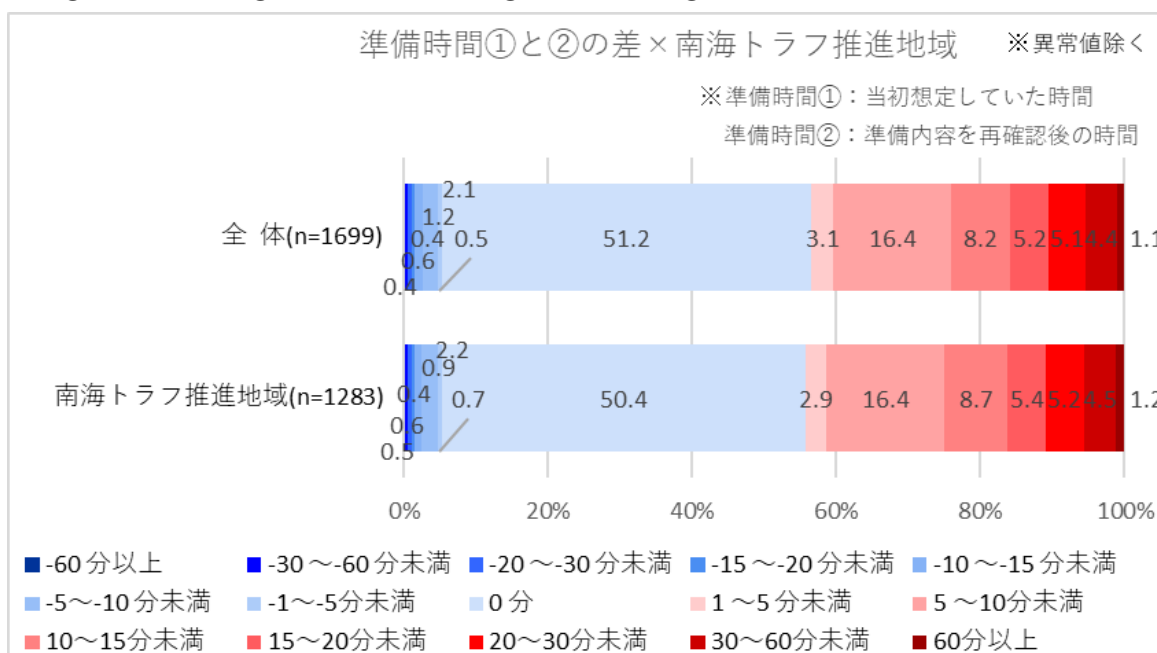


**Q2-4-2. 前問で回答した行動をすべて終えて、あなたは地震の揺れがおさまってから何分後に自宅を離れて避難場所に向かうことができますか。**

・「揺れが収まった後に、すぐに避難せずなんらかの行動を終えてから、避難する」と回答した人の避難の準備時間について、「当初想定していた時間（準備時間①）」と「準備内容見直し後の時間（準備時間②）」を比較すると、見直した後の方が準備にかかる時間が増加しており、南海トラフ推進地域（n=1283）においては、平均約6分延びている結果となった。

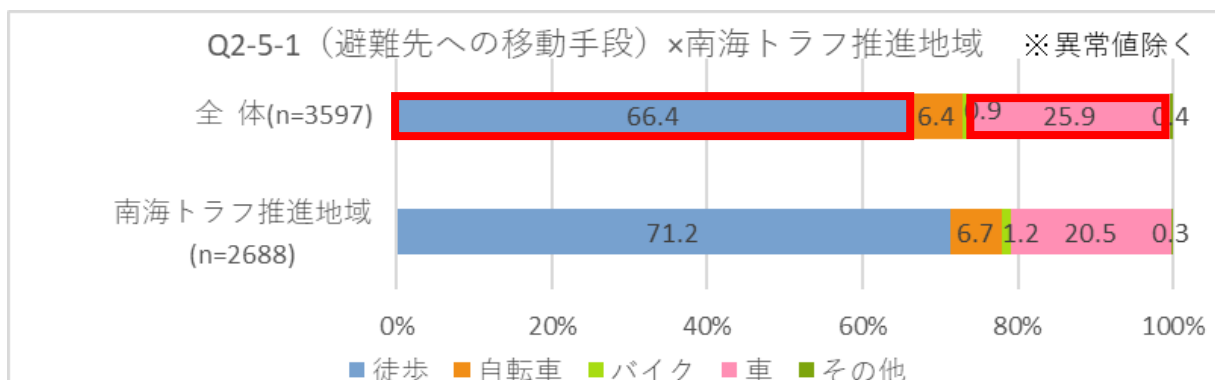


**「準備時間①」と「準備時間②」の差（「準備時間②」-「準備時間①」）**

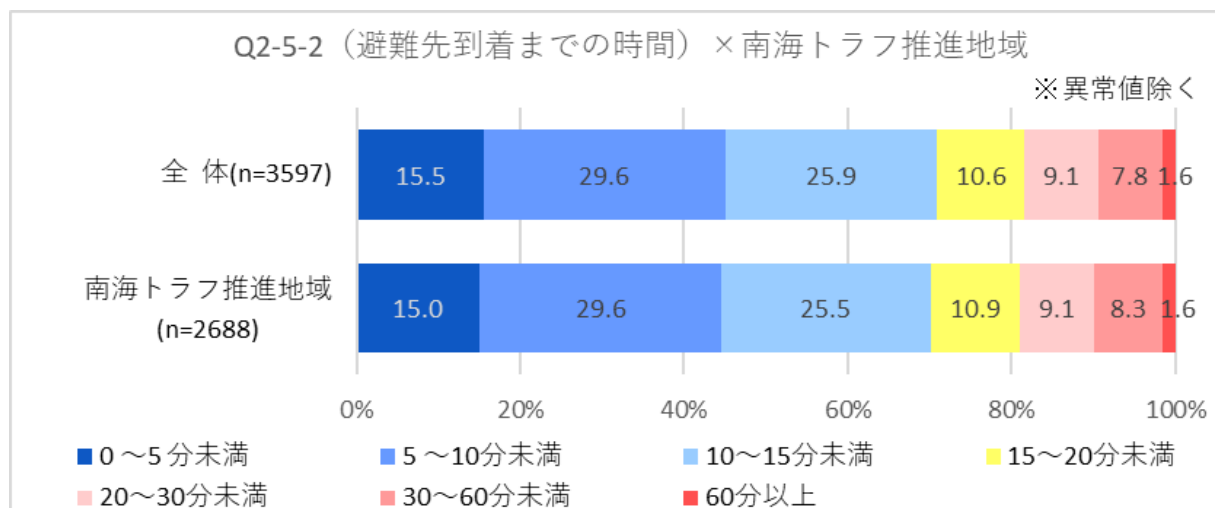


**Q2-5-1. 避難場所までの移動手段を教えてください。（あてはまるものを1つ選んでください。）**

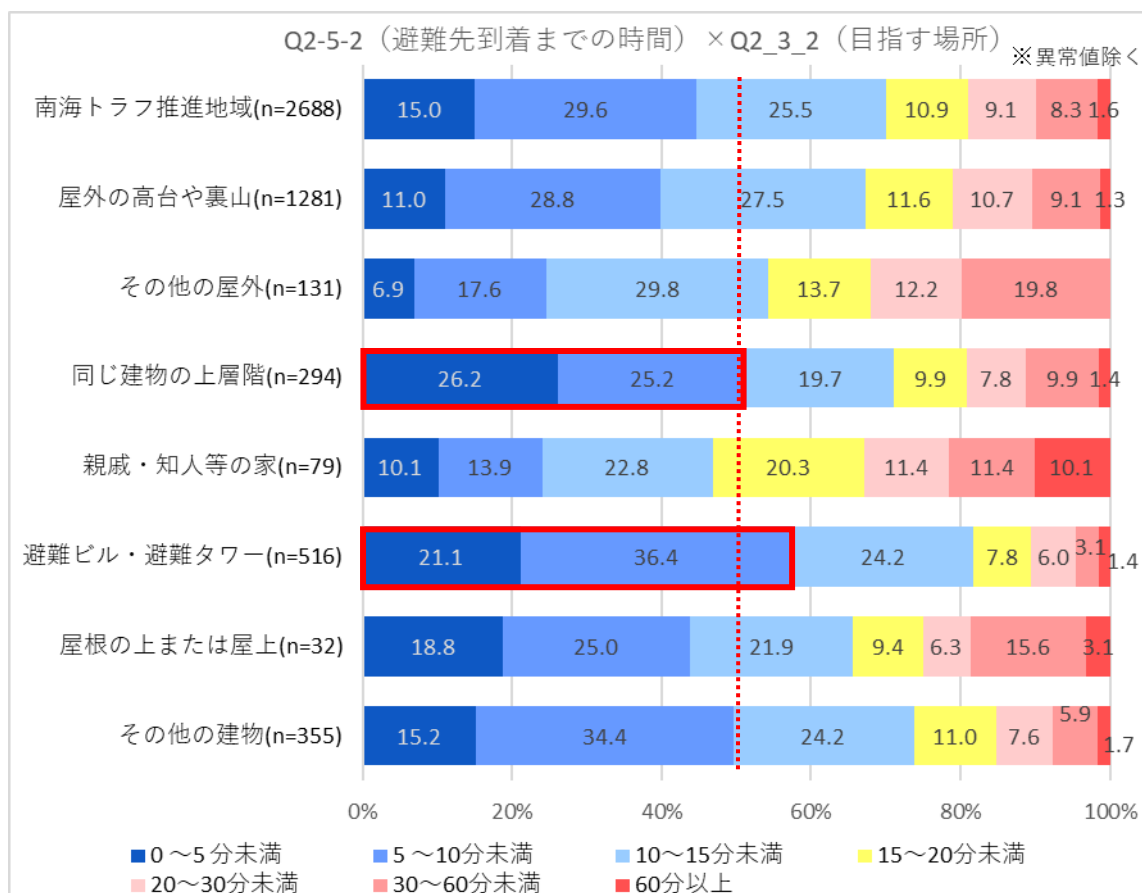
・避難先への移動手段について、全体では「徒歩」が 66.4%、次いで「車」が 25.9%となり、南海トラフ推進地域においても同様の傾向となった。



**Q2-5-2. 自宅を離れて避難場所へ向かい始めてから、避難場所へ到着するまでにかかる時間を教えてください。**



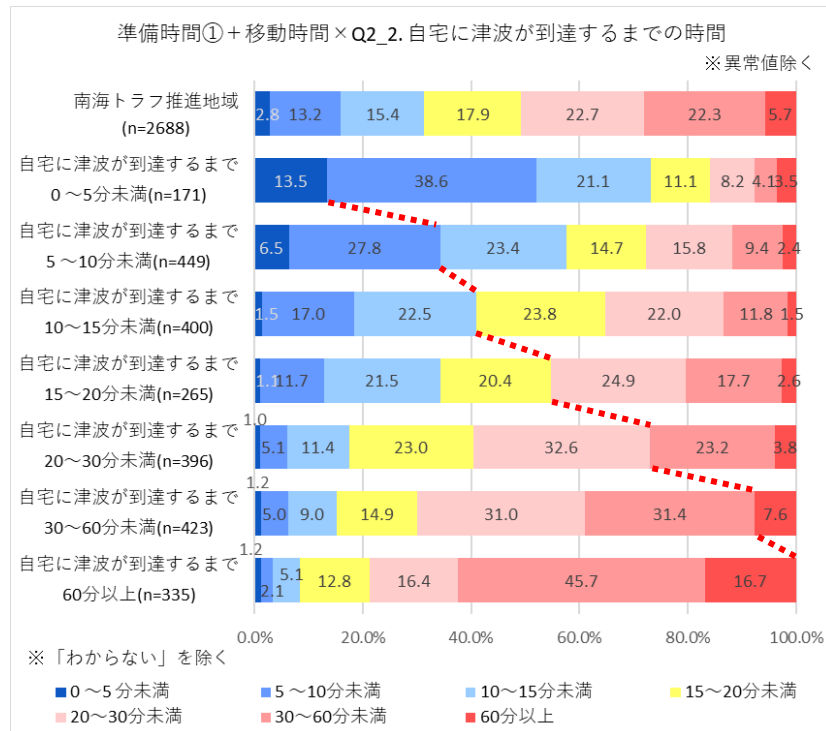
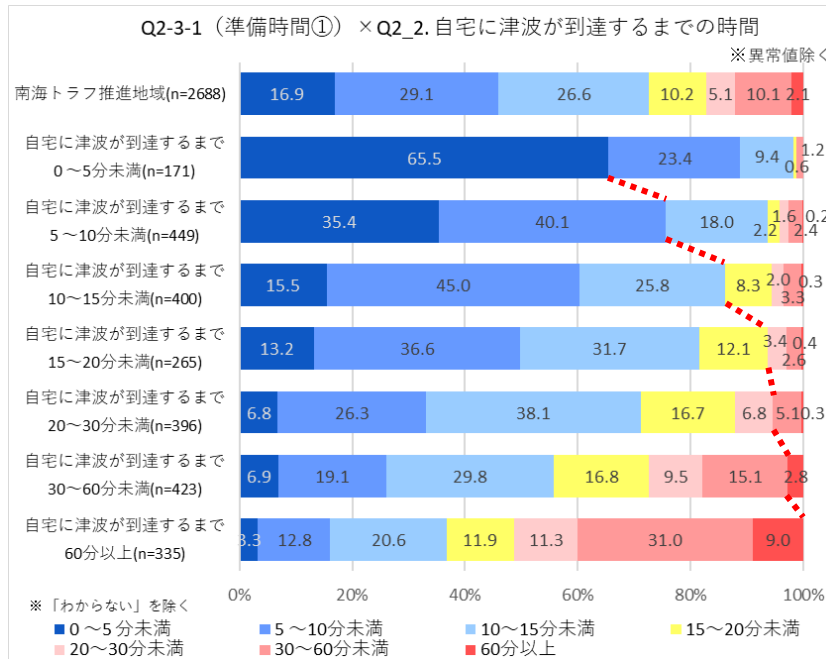
・避難先別の移動時間については、「同じ建物の上層階」や「避難ビル・避難タワー」が避難先の場合、移動時間が10分未満で到着可能と回答している人の割合が過半数を超えている結果となった。



**準備時間①+移動時間（「Q2-3-1. あなたは揺れがおさまってから、何分で避難（家を出る）しますか。」と「Q2-5-2. 自宅を離れて避難場所へ向かい始めてから、避難場所へ到着するまでにかかる時間を教えてください。」の数値の合計）**

・津波想定到達時間を早く予想している人ほど、避難先への避難完了時間（準備時間①のみ、準備時間①+移動時間の2パターン）が短い傾向にあった。

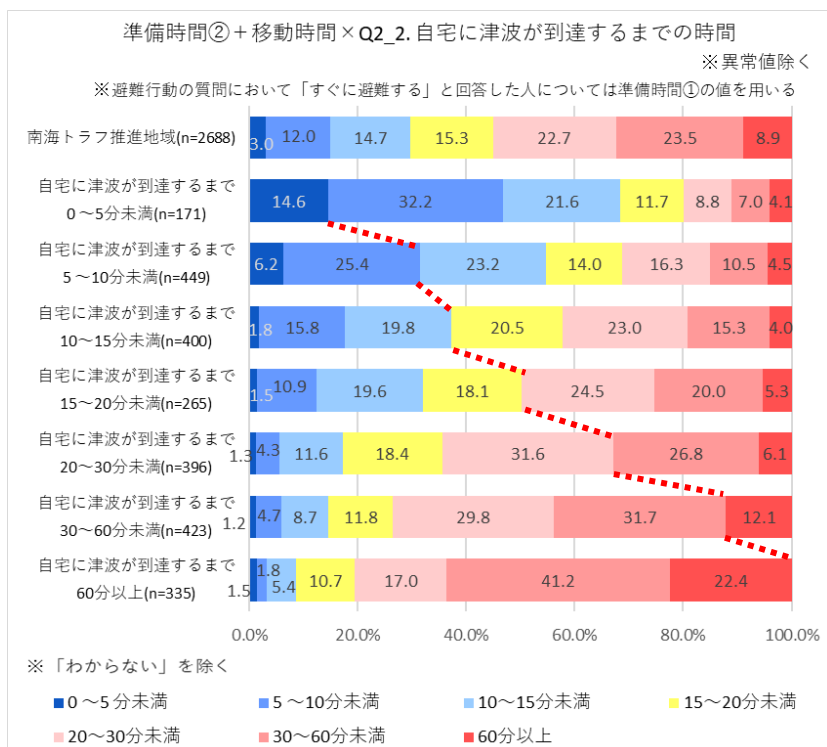
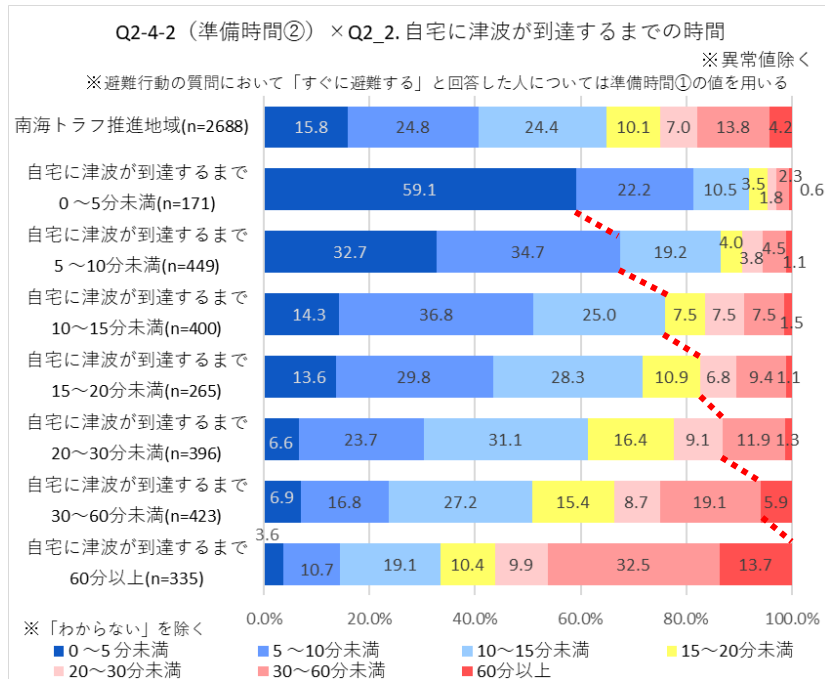
	準備時間①	準備時間①+移動時間
想定避難時間 ≤ 自宅までの津波到達予想時間	88.8%	61.5%



**準備時間②+移動時間（「Q2-4-2. 前問で回答した行動をすべて終えて、あなたは地震の揺れがおさまってから何分後に自宅を離れて避難場所に向かうことができますか。」と「Q2-5-2. 自宅を離れて避難場所へ向かい始めてから、避難場所へ到着するまでにかかる時間を教えてください。」の数値の合計）**

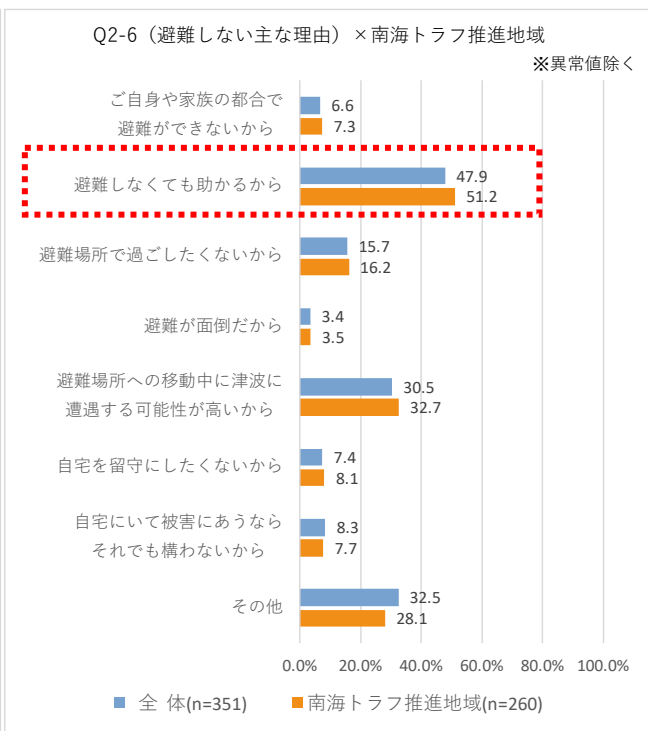
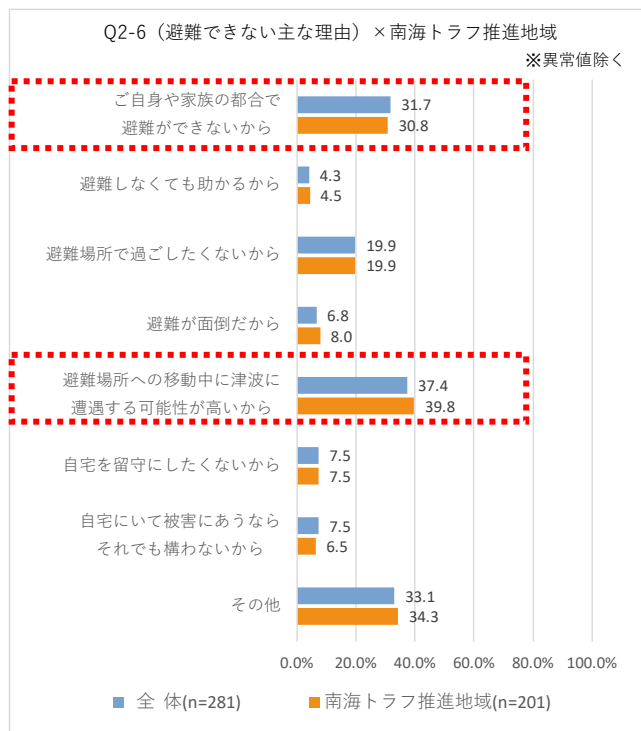
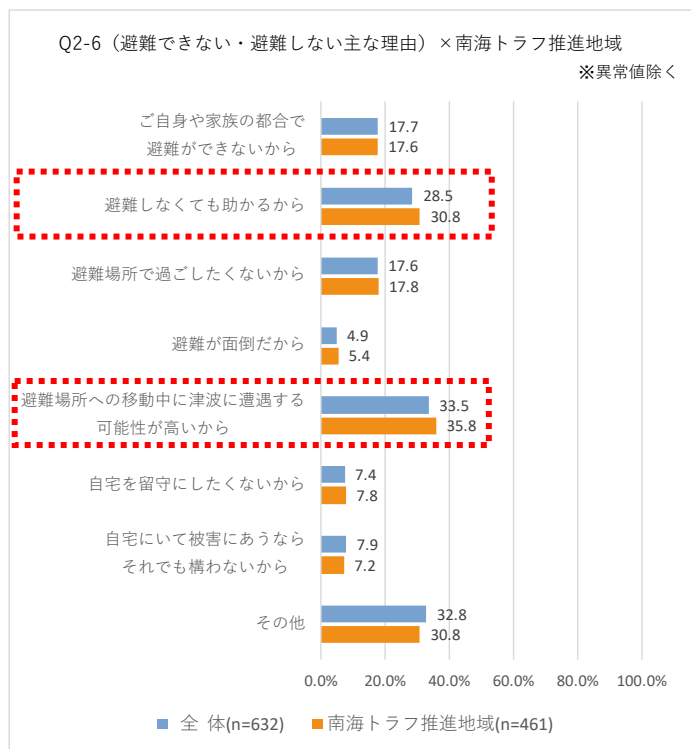
・避難開始までの準備内容を見直した後の準備時間（準備時間②）においても、当初想定していた準備時間（準備時間①）と同様に、津波想定到達時間を早く予想している人ほど、避難先への避難完了時間（準備時間②のみ、準備時間②+移動時間の2パターン）が短い傾向になっている。

	準備時間②	準備時間②+移動時間
想定避難時間 ≤ 自宅までの津波到達予想時間	82.2%	58.3%



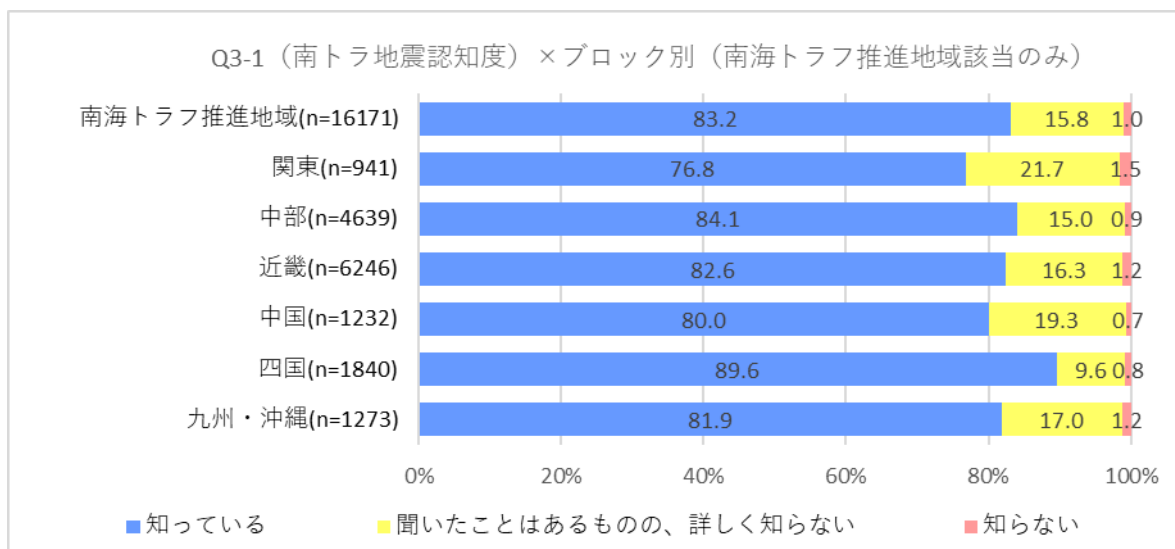
## Q2-6. 「避難できない」または「避難しない」主な理由は何ですか。（当てはまるものすべて）

- ・避難行動をとらない人について、「避難場所へ移動中に津波に遭遇する可能性が高いから」と回答している人の割合が最も高く、次いで「避難しなくても助かるから」となり、南海トラフ推進地域においても同傾向である。
- ・避難行動をとらない人のうち、「避難できない」と回答した人は、「避難場所へ移動中に津波に遭遇する可能性が高いから」や「ご自身や家族の都合で避難できないから」と回答している人が多く、一方で「避難しない」と回答した人については、「避難しなくても助かるから」と回答した人が最も多い結果となった。



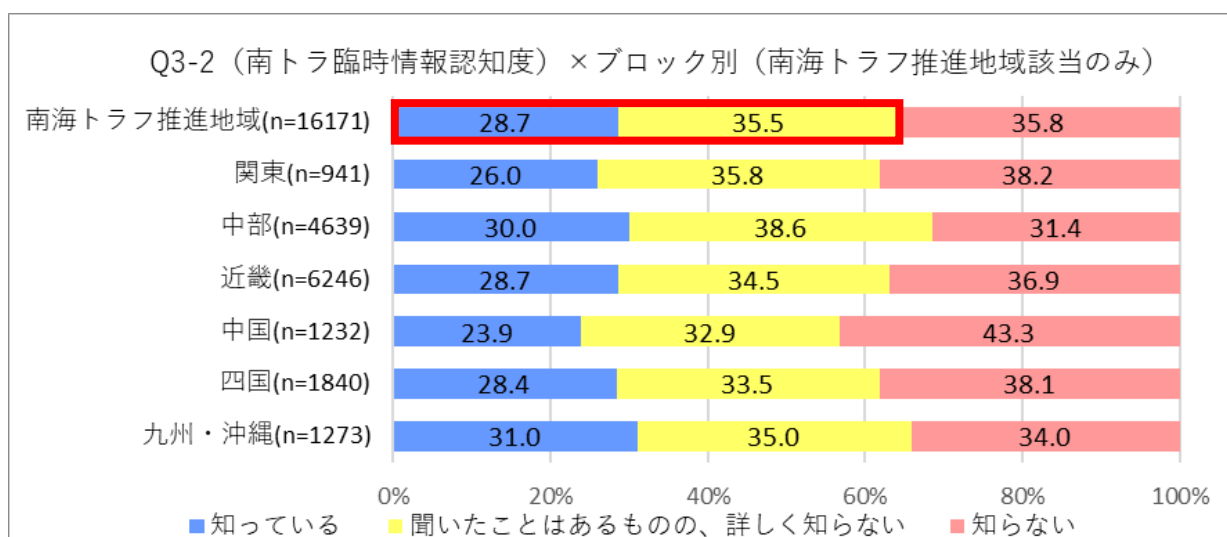
**Q3-1. 南海トラフ沿いの巨大地震の発生について、地震の発生が切迫していることを知っていましたか。（あてはまるものを1つ選んでください。）**

・南海トラフ地震の発生について、80%以上の方が切迫していることを「知っている」と回答しており、特に四国地方では「知っている」と回答した人の割合が約90%と他の地域に比べて最も高い結果となった。



**Q3-2. 「南海トラフ地震臨時情報」には、「巨大地震警戒」と「巨大地震注意」の2つがあります。あなたはこの臨時情報のことを知っていますか。（あてはまるものを1つ選んでください。）**

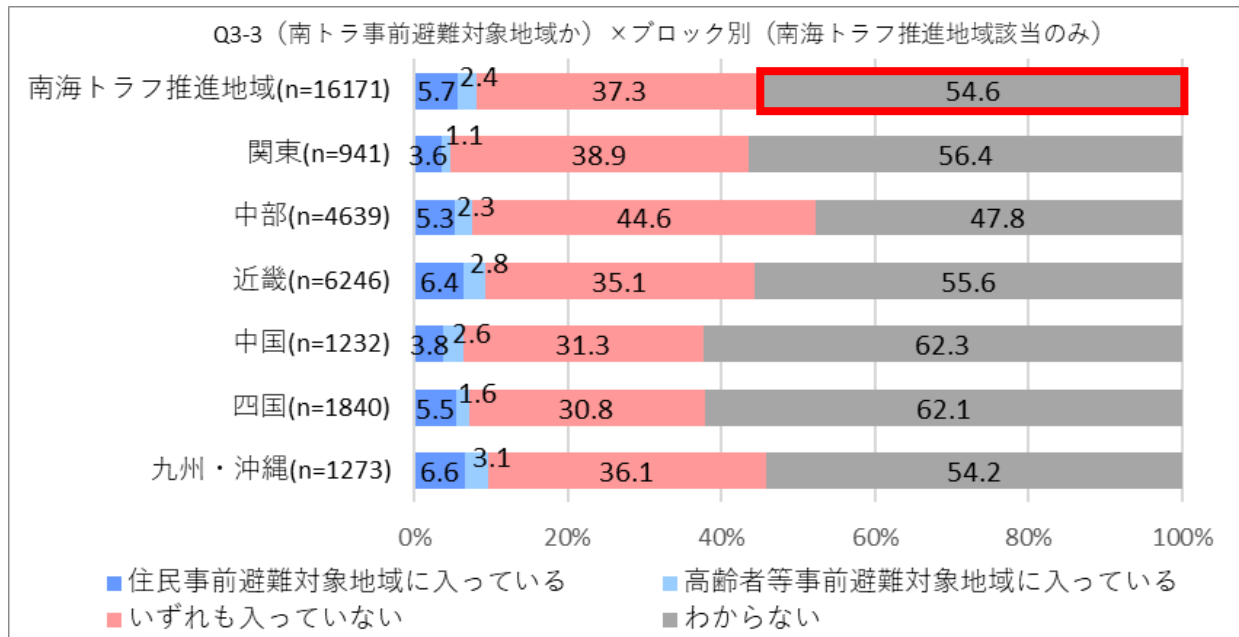
・南海トラフ地震臨時情報を「知っている」または「聞いたことはあるものの、詳しく知らない」と回答した人の割合は、合計約64%となり、過半数以上の方が南海トラフ地震臨時情報については認知していた。





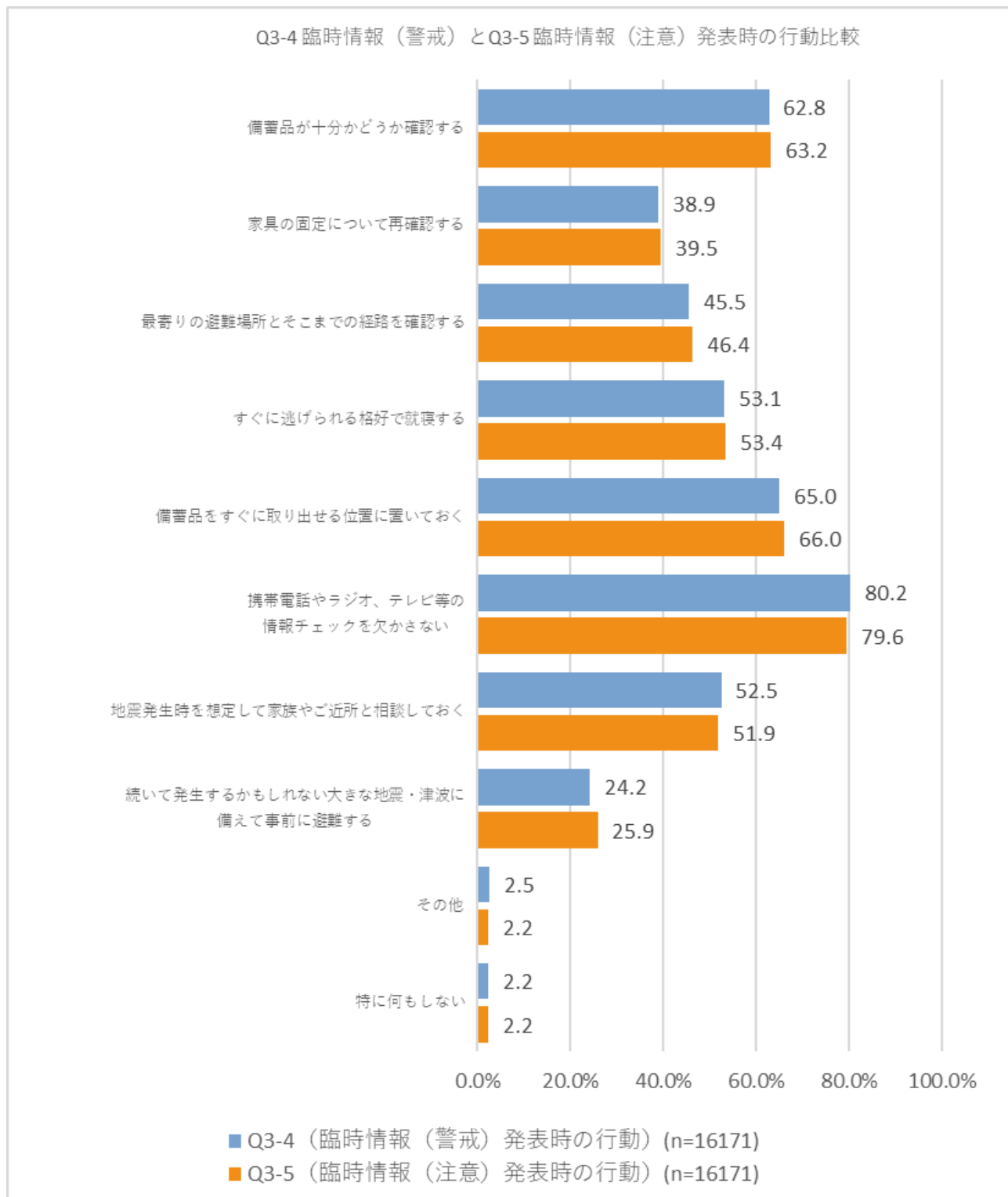
**Q3-3. 南海トラフ地震臨時情報が発表された際に、後発地震に伴う津波に備えて、事前に1週間避難しなければならない地域があります。あなたの自宅はその地域に入っていますか。**

・南海トラフ推進地域では、約半数の人が事前避難対象地域かどうか「わからない」と回答している。



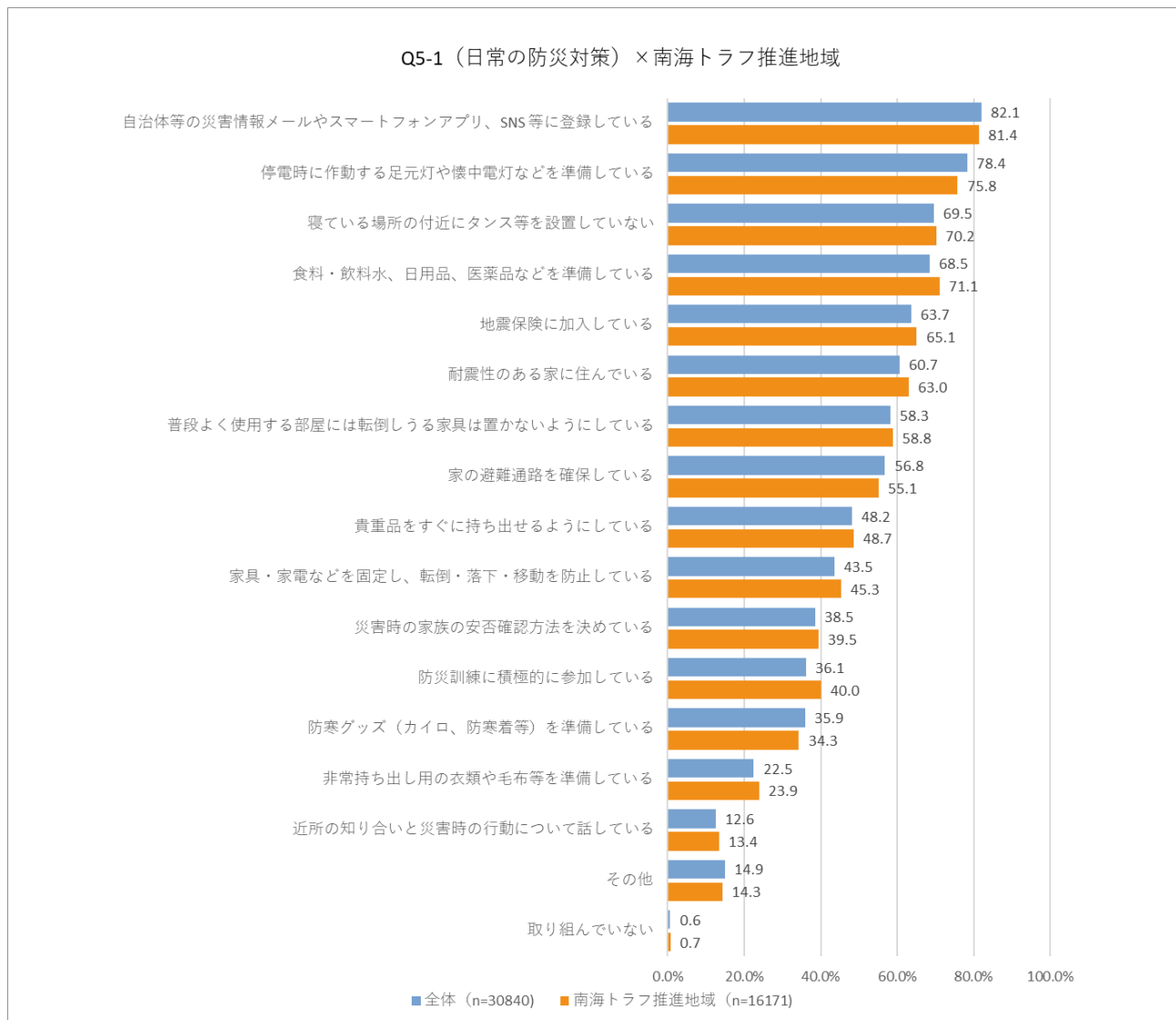
Q3-4. 「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）」が発表されたとき、あなたはどのような行動を起こしますか。  
 （当てはまるものすべて）と Q3-5. 「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」が発表されたとき、あなたはどのような行動を起こしますか。（当てはまるものすべて）

・「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）」「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」が発表された際の行動の違いについて、同様の傾向となった。

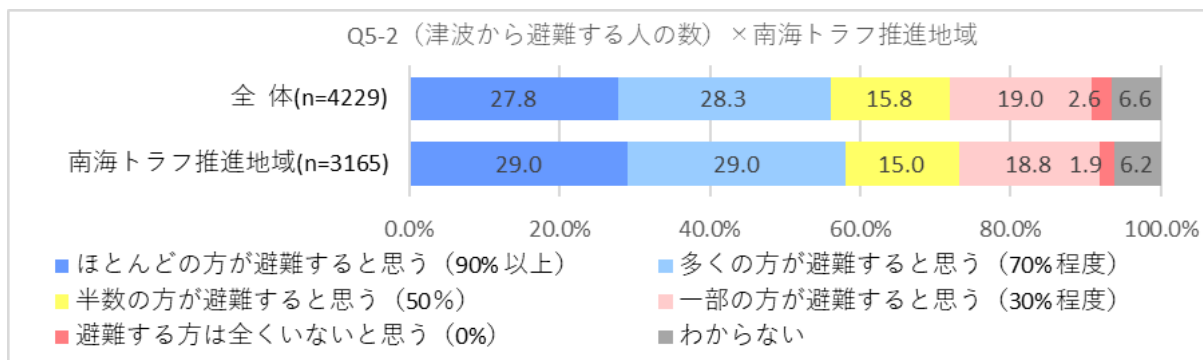


### Q5-1. 大地震に備えて取り組んでいる日常の防災対策について教えてください。

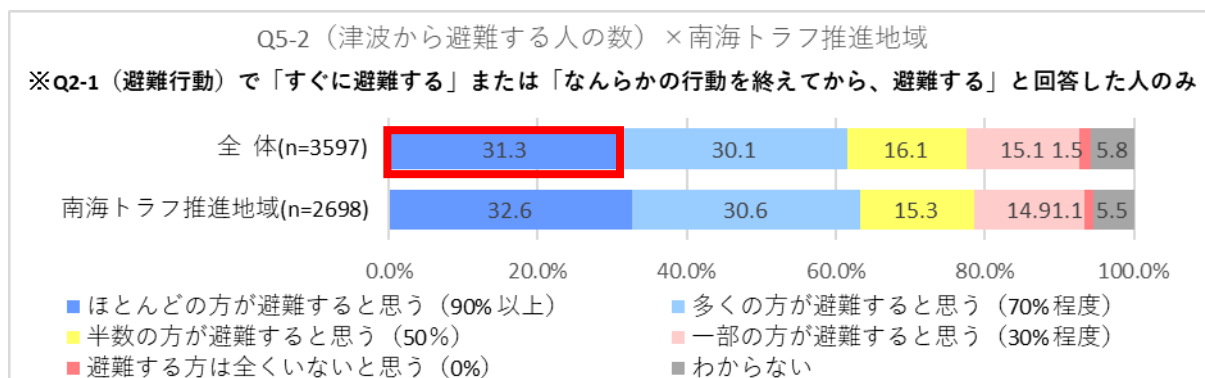
- ・全体では「自治体等の災害情報メールやスマートフォンアプリ、SNS等に登録している」と回答した人の割合が最も高く、次いで「停電時に作動する足元灯や懐中電灯などを準備している」となっており、南海トラフ推進地域においても同様の結果となった。
- ・「その他」については、「水・食料品・日用品の確保や備蓄、ローリングストック」、「避難先・避難経路の確認、共有」などがあつた。



**Q5-2. 近所の方々のうち、津波から避難する人はどの程度いると思いますか。（あてはまるものを1つ選んでください。）**

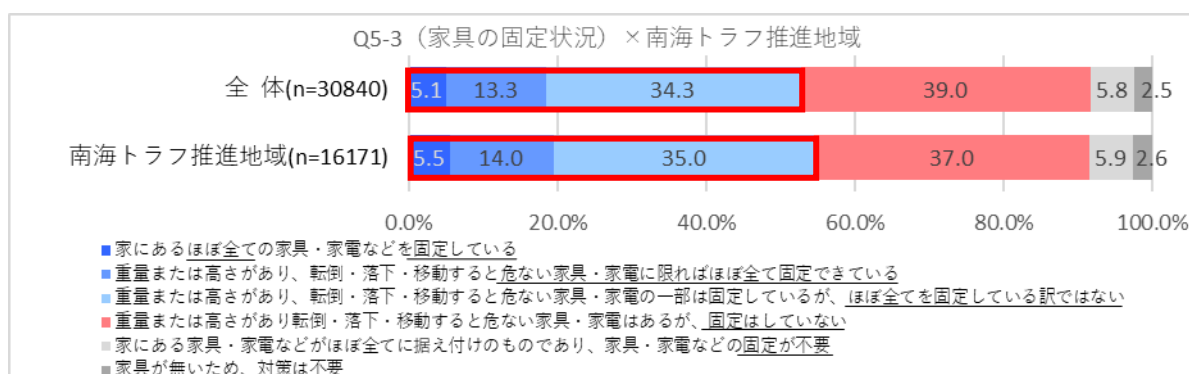


・周囲の避難行動について、Q2-1の避難行動で避難すると回答した人※のうち、「ほとんどの方が避難すると思う」と回答した人の割合は約31%となり、本人は避難行動をとる一方で、周囲の避難行動については差異があった。



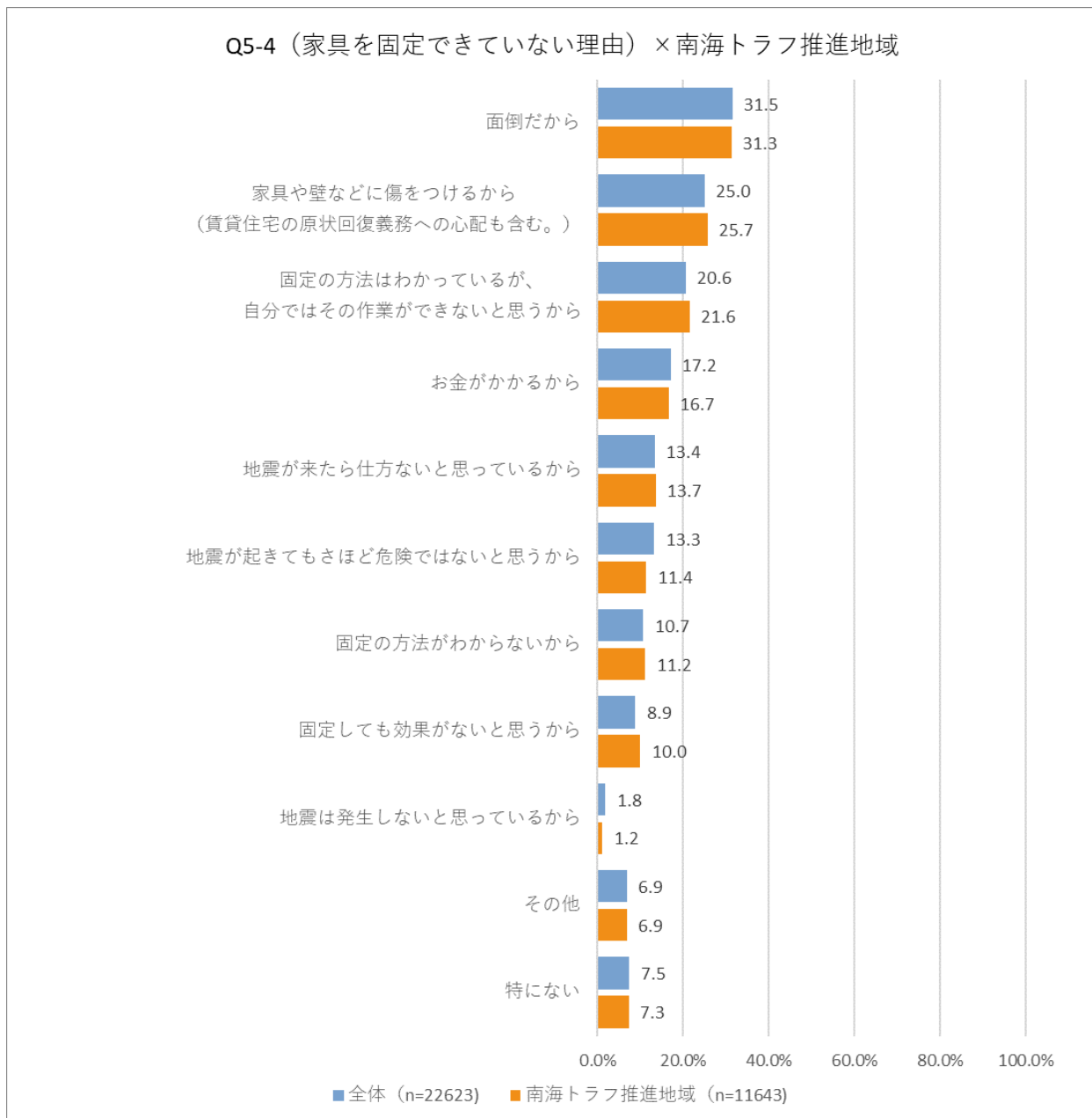
**Q5-3. ご自宅のあなたの身の回りの家具・家電製品（小さなものを除く。以下同様）などの固定状況について教えてください。（あてはまるものを1つ選んでください。）**

・家具等の固定について、「固定している（一部固定を含む）」と回答している人の割合は過半数を超えており、南海トラフ推進地域においても、全体と同様の傾向となった。



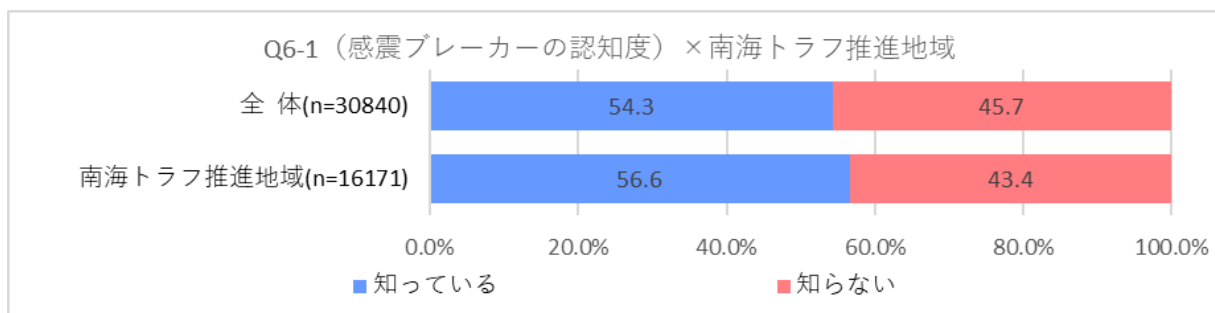
#### Q5-4. 家具・家電などの固定ができていない理由は何ですか。（当てはまるものすべて）

・全体では「面倒だから」が最も多く、次いで「家具や壁などに傷をつけるから（賃貸住宅の原状回復義務への心配も含む。）」、「固定の方法はわかっているが、自分ではその作業ができないと思うから」となり、南海トラフ推進地域においても同様の傾向となった。



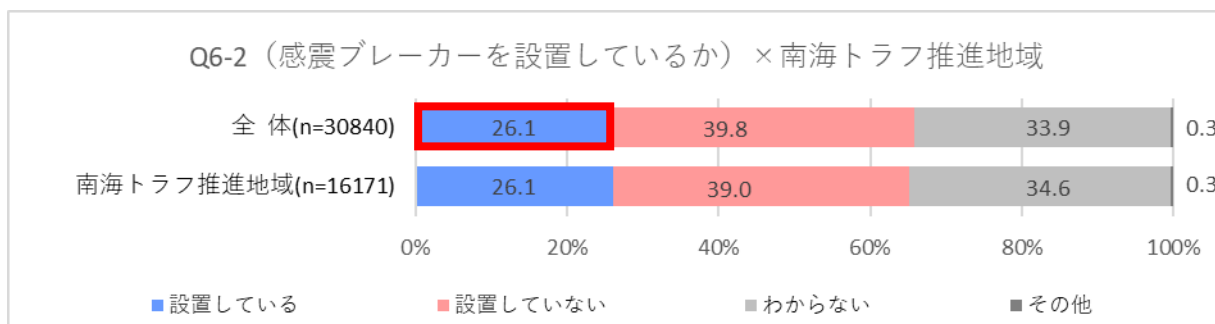
**Q6-1. 地震を感知すると自動的にブレーカーを落として電気を止める「感震ブレーカー」を知っていますか。（あてはまるものを1つ選んでください。）**

・感震ブレーカーの認知度について、「知っている」が過半数を超える結果となった。

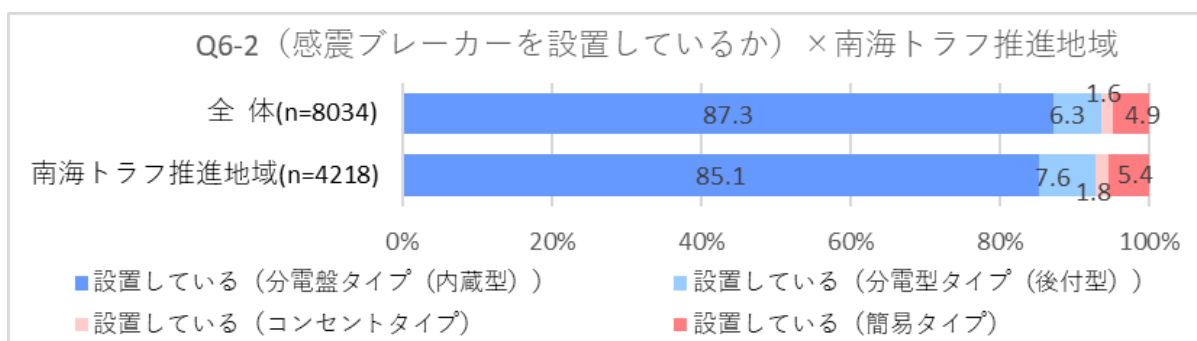


**Q6-2. あなたは、大地震に備えて、感震ブレーカーを設置していますか。（あてはまるものを1つ選んでください。）**

・感震ブレーカーの認知度については過半数を超えているものの、実際に設置している人の割合は約26%に留まる結果となった。

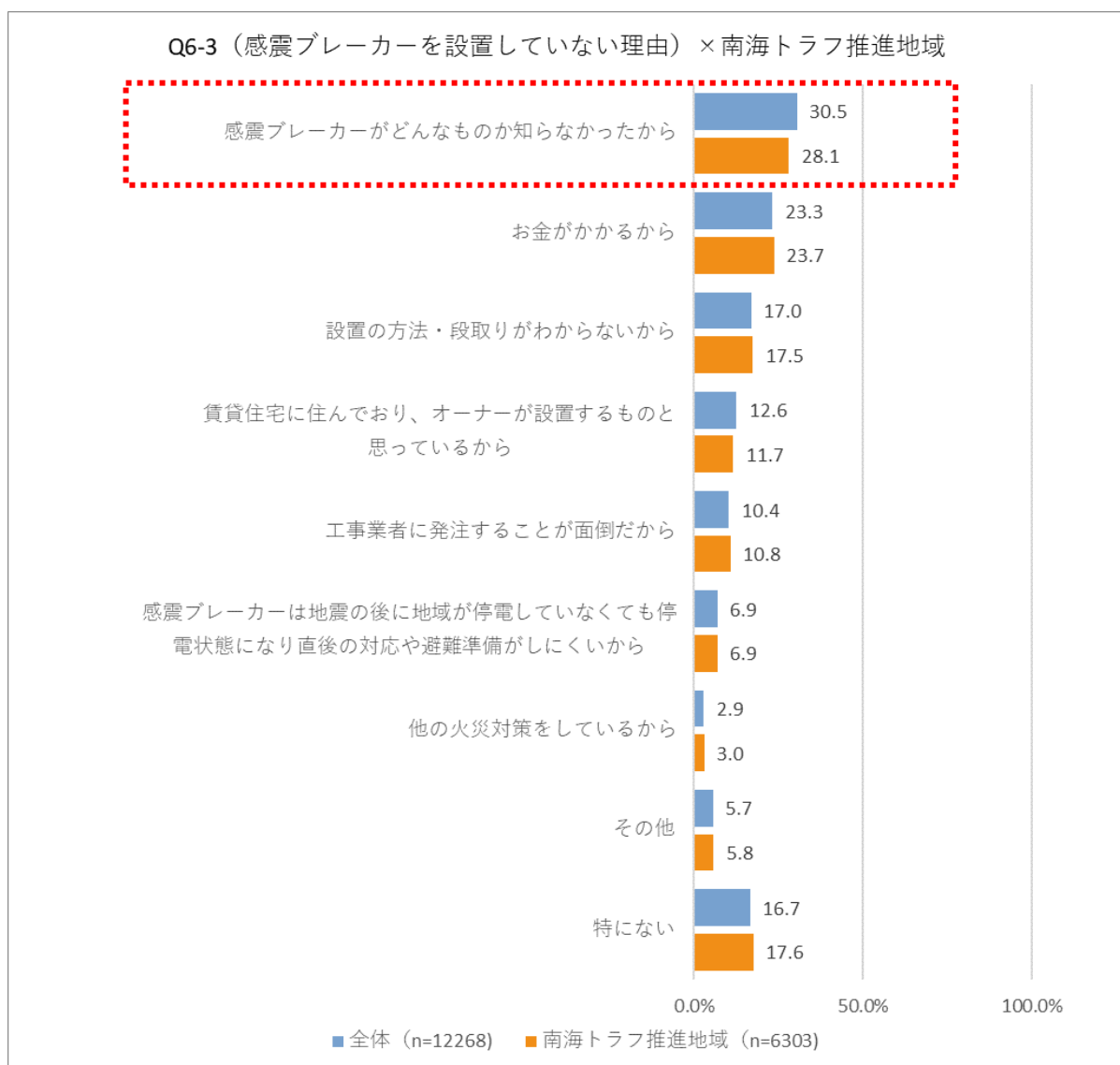


・「設置している」の内訳について、「設置している（分電盤タイプ（内蔵型））」が最も多く、南海トラフ推進地域においても同様の傾向となった。

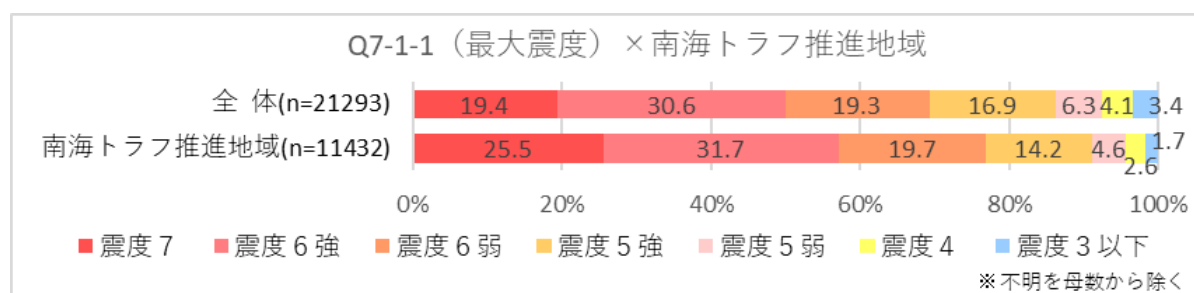


### Q6-3. 感震ブレーカーの設置が出来ていない理由は何ですか。（当てはまるものすべて）

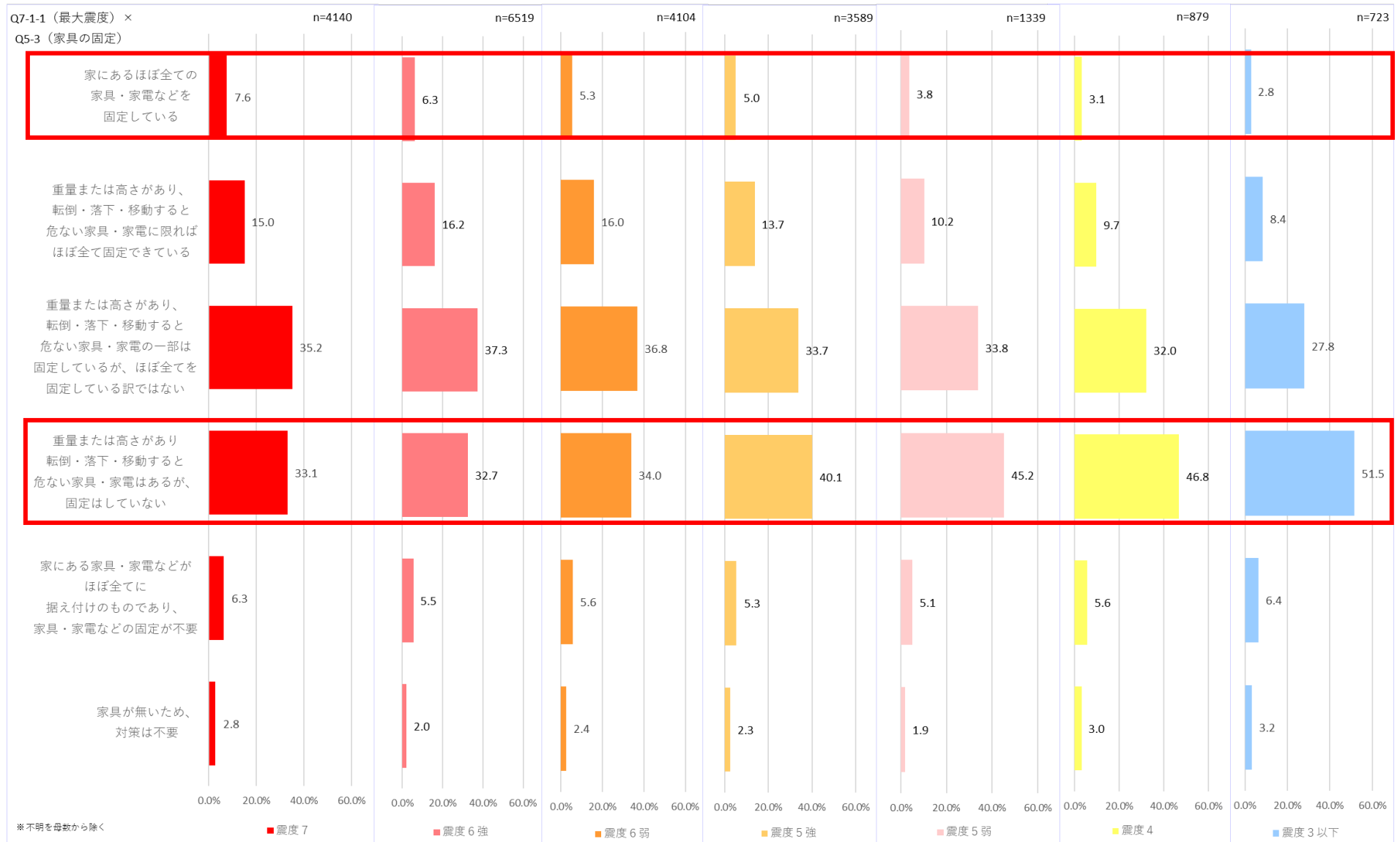
・感震ブレーカーを設置していない理由について、「感震ブレーカーがどんなものか知らなかったから」が最も多いため、感震ブレーカーの普及の促進が必要である。



### Q7-1-1. ご自宅付近で想定されている地震による最大震度はどれですか。（あてはまるものを1つ選んでください。）※不明を母数から除く

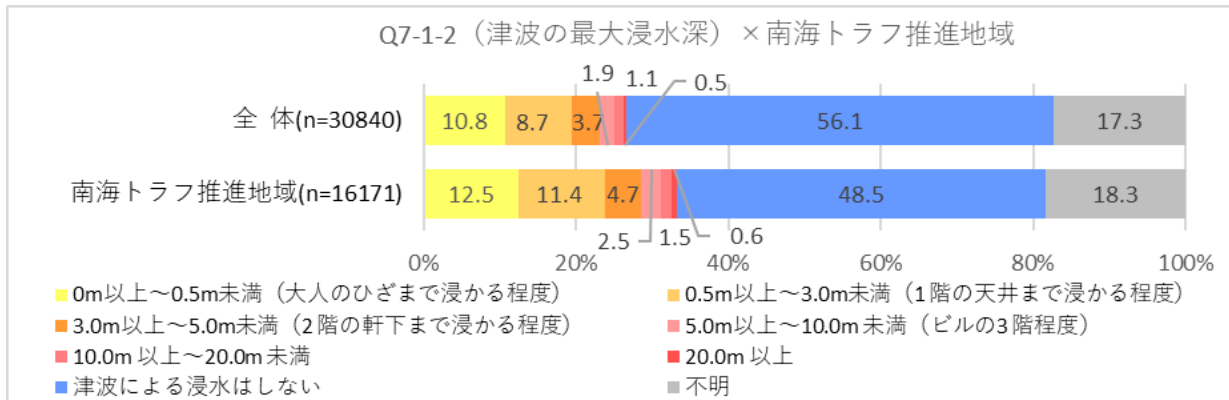


・最大震度別と家具等の固定状況について、最大震度が大きくなると「ほぼ全て固定している」と回答している人の割合は高くなり、最大震度3以下では「固定していない」は過半数を超える結果となった。

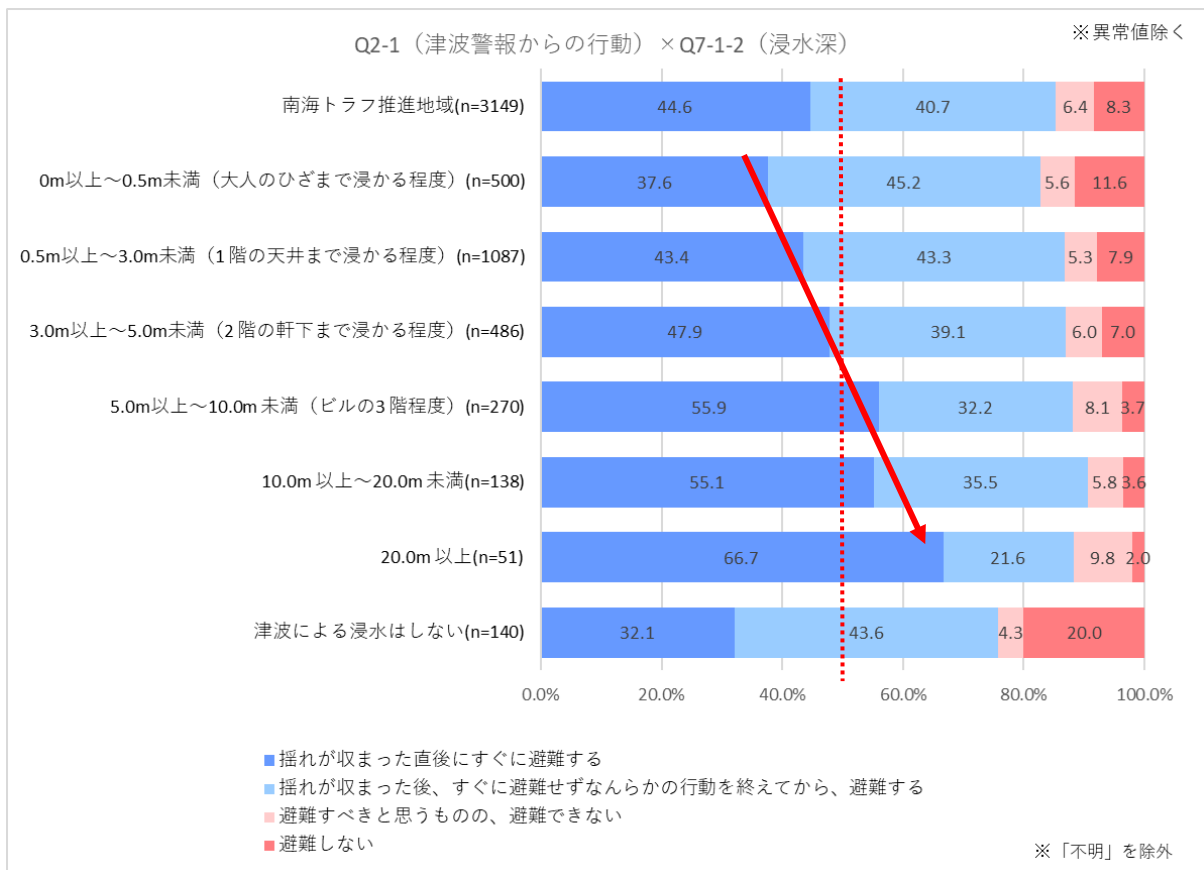




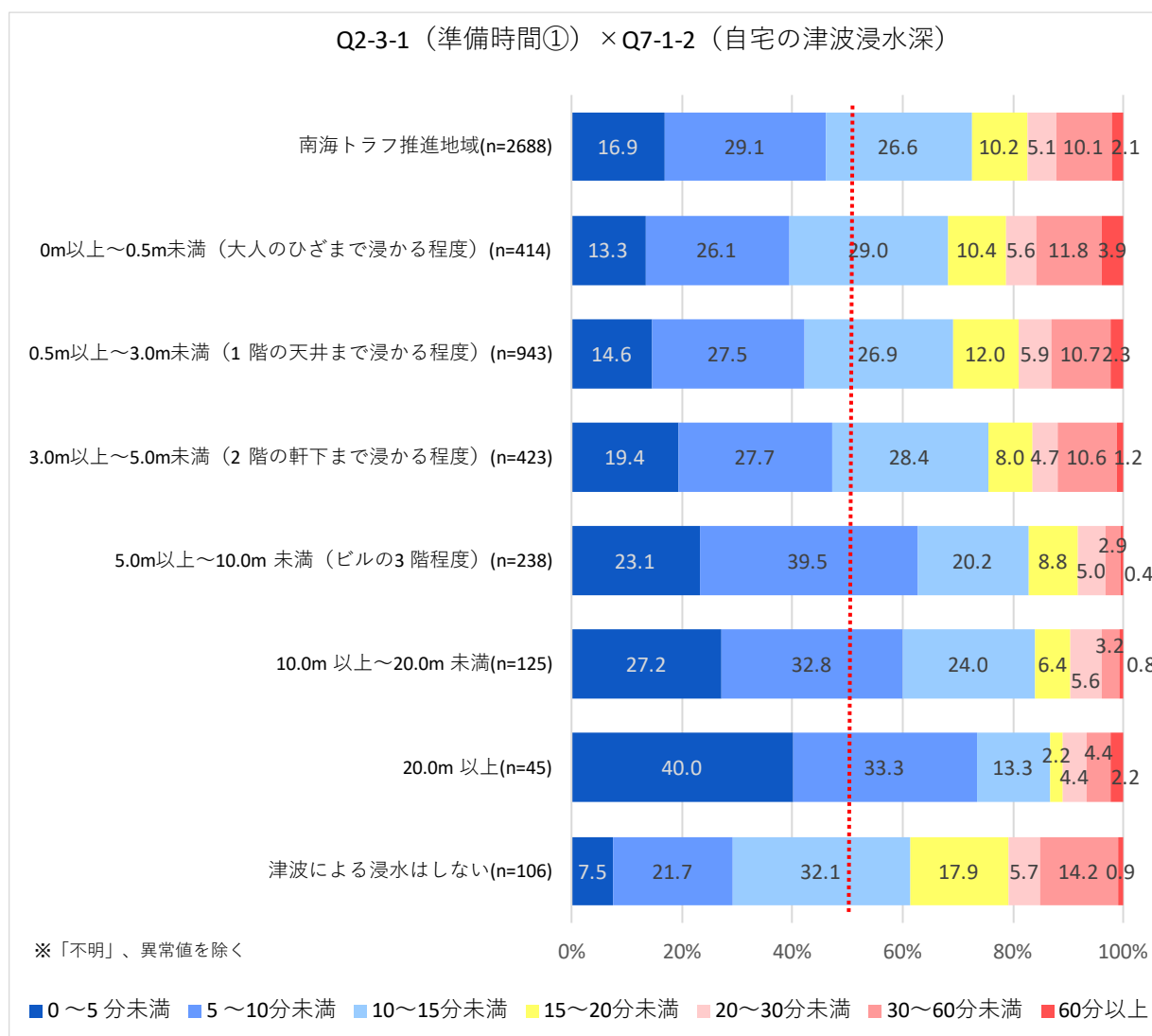
**Q7-1-2. ご自宅付近で想定されている津波による最大浸水深はどれくらいですか。（あてはまるものを1つ選んでください。）**



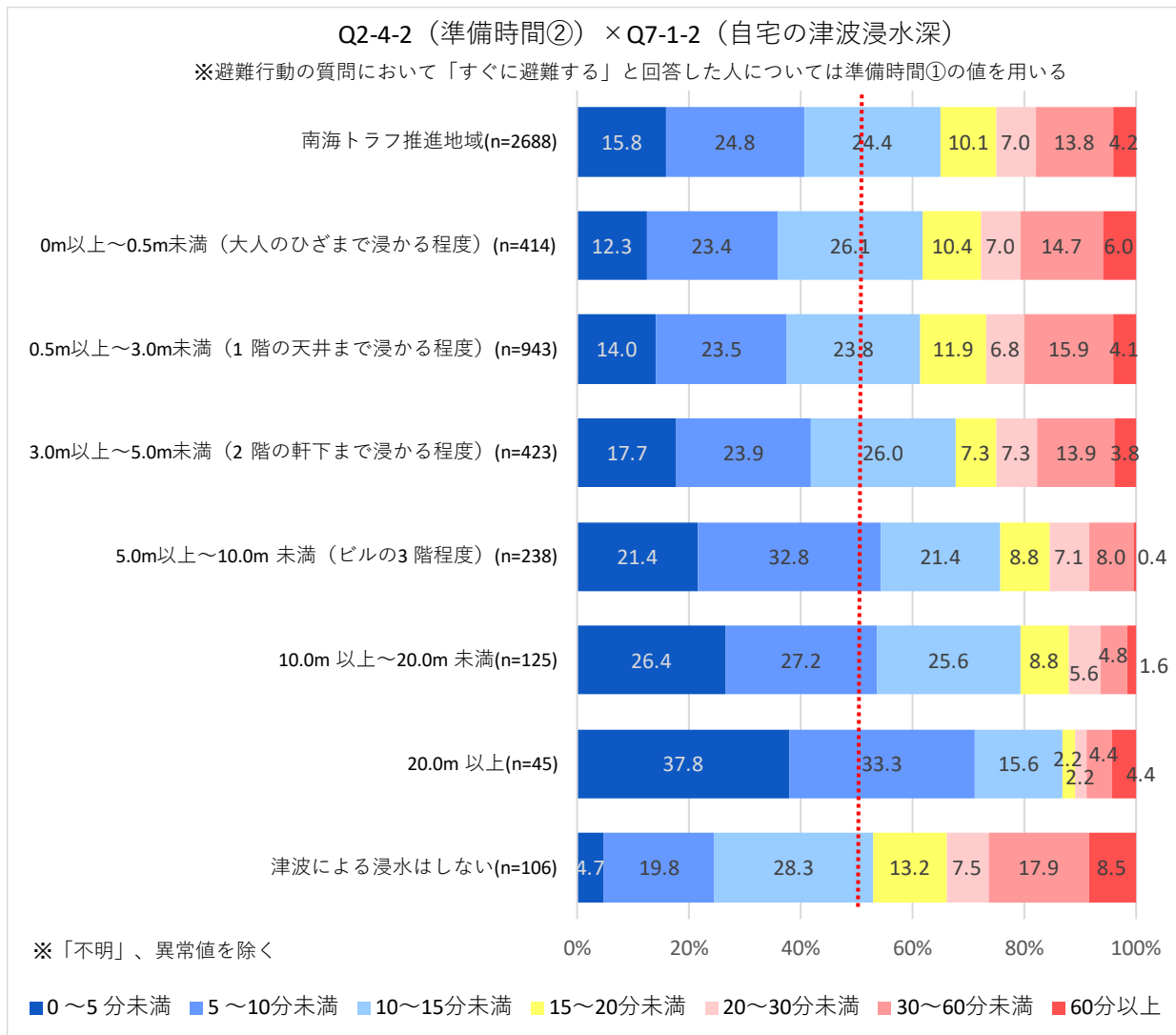
・自宅の最大浸水深と避難行動について、最大浸水深が深くなるにつれて「揺れが収まった直後にすぐに避難する」と回答した人の割合は、高くなる傾向にあり、「5.0m 以上」で過半数を占める。



- ・自宅の最大浸水深と準備時間①について、最大浸水深が深くなるにつれて準備時間が短縮される傾向がみられ、「5.0m 以上」では「10 分未満」が過半数を超える結果となった。



- ・自宅の最大浸水深と準備時間②について、「5.0m 以上」では「10 分未満」が過半数を超えており、準備時間①（前ページ）と同様に最大浸水深が深くなるにつれて準備時間が短縮される傾向がみられた。



Q7-2. あなたは本アンケートについて、どのような経由で知りましたか。（当てはまるものすべて）

